

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

FEBRUARY 1913 No. 2.

大正七年二月

青島實業協會

月報

第貳號



△本號記事▽

△協會錄事
△資料
△青島貿易
△海運及鐵道
△金融
△商品概況
△內外經濟彙報
△青島雜錄
△法租界規
△倫敦銀塊相場
△青島の物價
△統計

◁錄附號本▷

青島貿易三箇年比較表

青島實業協會月報 第貳號 目次

◎協會錄事.....一

◎資 料.....二

▲支那輸出貿易品中の落花生及落花生油.....二

▲淄川炭に就て.....六

◎青 島 貿 易.....一〇

▲大正六年貿易概況.....一〇

◎海 運 及 鐵 道.....一一

◎金 融(一月中).....一二

◎商 品 概 況(一月中).....一三

▲牛皮▲白米▲燐寸▲砂糖▲コークス▲洋酒▲清酒▲木炭▲鶏卵▲牛肉▲石炭▲木材▲煙草▲豆油▲鹽▲綿絲布▲石油▲落花生及落花生油

◎内外經濟彙報.....一七

◎青 島 雜 錄.....一九

◎法 規.....二一

▲建物貸下規則▲外國人取締規則▲支那關稅條例

◎倫敦銀塊相場(一月中)(大正六年中).....二二

◎青 島 の 物 價(十二月).....二三

◎統 計.....二六

▲貿易品▲鐵道輸送品▲船舶出入▲海上旅客▲鐵道旅客

協
會
錄
事

一、埠頭料輕減に關する件

一、重要輸出入品埠頭特定料金問題

右は貿易發展上必要事項として目下研究を急ぎつゝあり

一、貨幣の埠頭料を一箱幾何とせられ度件

右は研究の結果當分現狀維持已むを得ざるべしとの回答

一、船舶に關する諸料金は一船度に一纏めとせられ度件

右は船舶に關する料金は整理上各料金別に請求することは止むを得ず船會社に於て之を一括して支拂はるれば可ならんと

の回答

一、埠頭賃貸倉庫料低減の件

右は現在需給の關係上當分低減不可能なり

一、寄託倉庫搬出入料低減の件

右は當局に於ても實行希望に付目下研究中他日具體的立案の筈なり

一、コークスの一噸千五百十二斤を石炭、鹽同様千六百八十斤

右は十一月廿九日より實行中なり

一、上屋の無賃期間延長問題

右は現在貨物集散の狀態より見て當分現狀維持已むを得ざるべしとの回答

答

一、臨時開廳手續除去に關する件

右は日曜、祭日の晝間は手續不要のこと既に實行中又日曜、

祭日休務廢止方に就ては手筈中なり

一、野積み油類を倉庫内に搬入藏置方便法に關する件

右は當分便法なきものと認むとの回答

一、貨物置場所の擴大に關する件

右は至極必要事項と認め從來淄川炭の堆積場第一埠頭なりしを第四埠頭へ移し其の跡を博山コークスの置場所に充て以て

荷主の便に供し居れり

一、埠頭增築、特別棧橋設置、岸壁設備問題

右は重大案件として慎重研究中

一、損害鑑定人及責任監督者特設の件

右は支那人側よりも意見あり、埠頭事務所員中より指名して其

の任に當らしめつゝあり

一、至急を要する手續に關し應急便宜方

右は充分便宜を計りつゝあり（實例略す）

一、工業原料品に對する鐵道運賃低減問題

右は當局に於ても審査研究の結果夫々實行中なり

一、責任噸數と割引問題

右は猶研究中なり

一、青島濟南間貨幣運賃を天津濟南間津浦線同様に遞減せられ

度件

右は目下夫々攻究中なり

一、博山青島間石炭割引期限永續に關する件

右は石炭に就ては今年中繼續のことゝなれり

◎膠海關宛回答の件

曩に膠海關より當港輸入稅率及檢貨上改定又は改良を要する意見提出方照會あり當協會に在ては本件は不日上海に於て開催の關稅率改正會議と密接なる關係を有することを諒承し直ちに臨時會を召集開議したる結果更に委員を選定し該委員會は大體に亘り調査打合せを了し猶ほ此上特に意見ある向き及び二三組合に移牒照會し其の意見も取纏め以て海關照會に資することゝなり居りしも何分回答期に對し調査研究に充分なる時日なく且つ農產物出廻期に際せると年末年始多忙等の爲め具體的成案を見ず故を以て此際協會としては一に青島貿易發展上可然研究盡力せられんことを請ふ旨の回答を發し同時に書記長より其の經過及び委員會に於ける夫々打合せ濟の件を附言する所ありたり

◎新年會

一月十日午後六時、協會運動部員合同衆の家に於て開催、出席者多數頗ぶる盛況を呈し部員有志者發案登場の演劇及び懸賞藝妓假裝行列等最も喝采を博し午後十時散會せり

◎月報第一號發刊

當協會月報第一號は去月下旬發刊會員及び各方面に配付せり

◎旬報配付

海關旬報(十二月上旬)第三十四號は一月九日、同(中旬)第三十五號は同月十五日、同(下旬)第三十六號は十九日何れも配付せり
◎規約改正及名義人變更屆

先に改正せられたる協會規約及び月報印刷人を足立孝に印刷所を青島新報社に變更の件届出は何れも一月十一日青島民政署に提出せり

◎支那に於ける戰時貿易調査

支那に於ける戰時貿易狀況調査のため臨時產業調查局第四部囑託吉田虎雄氏不日出張に付便宜供與方同部長岡實氏より當協會宛書信ありたり

◎協會代表者の動靜

△太田保一郎氏(橫濱正金銀行青島出張所)は六日大連に、十二日歸青△田邊郁太郎氏(岩城商會支店)は二十五日臺北に、神戶に△淵田太郎氏(伊藤忠合名會社支店)は大阪より十九日歸青△三宅駿二氏(東和公司青島支店)は目下神戶に滞在中△淺見豐吉氏(東亞煙草株式會社青島販賣所)は二十一日日光縣へ出張、二十四日歸青△片桐篤太郎氏(朝鮮銀行青島支店)は二十四日、衆の家に在青新聞記者數名を招き晚餐會を催ふす猶同氏は二日大連に出張、六日歸青△石橋藤次郎氏(大倉組出張所)は濟南出張中十二日歸青△河南薰氏(神戸棧橋株式會社派出所)は今回市内大和町六番地轉宅△飯塚重五郎氏(三井物產株式會社出張所)は十五日沿線視察、十八日歸青△市川數造氏(南滿洲鐵道株式會社埠頭事務所出張所)は二十七日大連出張、二月二日歸青△峯村正三氏(峯村洋行)は二十六日濟南へ、二十八日歸青△金子慶治氏(鈴木商店出張所)は二十日大連へ、二十六日歸青△永井照八氏(大日本麥酒會社青島出張所)は二日濟南經由上海方面視察出張中なり

資 料

◎支那輸出貿易品中の

落花生及落花生油

附 青島輸出情況

一急進的輸出増加
支那貿易の輸出品は主に農產又は農產加工品にして所謂原料品

に存すること多言を要せず而して落花生及び落花生油が近年著しく輸出額を増大せるは全く注目し値するものあり元來本品は支那古來の農産物にあらず其の生産を見るに至りしは極めて近世のことにして海外輸出品としての地位を作りしも其の時日甚だ淺し然れども本品栽培上に於ける支那の地味氣候は頗ぶる之に適合するものあり今や各地に播種生産され特に當山東省内に於ける本品の成績は則せずして一頭地を抜けるの觀ありて天津青島、芝罘よりする毎年の搬出高は支那總輸出量に於て劃然壘を高めつゝあり而して單に此の方面の輸出旺盛なるのみならず支那各地を通じて本品の輸出せらるゝもの年を逐ふて増大し千九百十三年と四年後の千九百十六年とを比較するときには正に倍額を示せること左表に徴して明らかなり

年 別	數	量(擔)	價	額(海兩)
一九一三年		二五、五七三		二、八三、九九八
一九一四年		二五、七五一		二、七九、八九七
一九一五年		三五、〇九八		三、四二、一九〇
一九一六年		五五、五三三		六、〇〇、四九四

以上は主として落花生油の輸出事實を示せるもの更に之を分類せば(單位海關兩)

年 別	落花生	落花生油	同 類	計
一九一三年	五〇、三、九八	二八、三、九八	二五、六六	七九〇、六三
一九一四年	五〇、六、四四	二七、八、九七	八、九六〇	七九四、四〇二
一九一五年	二二、六、二四	三四、三、九〇	〇、五、九四	五、六、四、二九
一九一六年	二六、五、七八	六〇、〇、四四	七、七、五八	八、六、三、八〇

にして落花生及び同油の輸出傾向は全く其の位地一轉換せるに似たり蓋し歐洲開戦後に於ける需要先の變化及び需要關係の擴

大に基く一現象たり
二、需要地變化の考證
落花生油の仕向地は香港を主位とし更に同地より歐米及南支各地に再輸出せらるゝを通例とし歐洲開戦後に於ける市場關係は左表の如く變化せり(單位擔)

仕向國	一九一三年	一九一四年	一九一五年
香港	一九一、三七七	一八〇、七〇二	一九四、五一七
澳門	二〇、一七	五、五八六	二、六八一
安南	二〇、五	一八二	一五〇
暹羅	三、〇八六	五、〇〇四	四、一二五
新嘉坡	五八、八一〇	六四、三二五	五九、六五三
英領印度	一一九	一、一二三	一、四四八
英領印度			四〇
英吉利		一七	一二、二四六
獨逸	三二七		
佛蘭西	二五三		一六、二九六
露國	七	一	二三
朝鮮	七三	八四	一〇〇
日本	七	一二	五九、一五三
比律賓	一		
加奈陀	二九一	六一	一七一
合衆國	二五、六、五七三	二五、七、一五一	一、四九五
計			三五二、〇九八

三、有穀品及無穀品

支那各市場に出廻る落花生搬出の大源は山東、河南、直隸の産にして就中山東物は最も能く謳歌せられ其の戦前に在ては支那總輸移出量の七割五分(膠州五割強天津二割五分)を占めたりと

云ふ而して一時有穀品熾なりしも開戦後船腹不足及び運賃高價のため近時無穀品の荷動き好く左表の如く漸次無穀品の氣勢を高めつゝあり

	數 量 (擔)		價 額 (海兩)	
	有穀	無穀	有穀	無穀
一九一三年	一、〇五四、三八七	八七、〇五九	四、六〇九、九七三	四二二、二二五
一九一四年	五九一、七五五	五八二、三四〇	二、〇八七、三八九	二、九七七、〇五五
一九一五年	三三二、一九一	二一六、〇八六	一、一一九、八三二	一、〇〇六、三八二
一九一六年	二一六、八四六	四二四、九一七	八〇三、四七七	一、八一二、二五一

四、支那各港有穀品輸出高

左表に示す如く支那各港に於ける有穀品の輸出高は依然天津、膠州、芝罘を以て指を屈すべく従つて其の産地の關係も一見釋然たるものあるべし而して青島よりの輸出高が開戦後（一九一五年）一時頗ぶる不況を呈せるは主として歐洲向輸出の杜絶と青島税關が八月迄支那税關として認められず其の産物たる本品が青島を出でんとするに當り二重税を課せらるゝ等のため戦前當港を経由せしものも多くは津浦線に據り上海又は天津に出廻りたるに因ること多しと稱せらる然れども今や全く戦前平時の狀態に復し運輸關係の能動と相俟て本品の搬出は更に一段の盛況を呈せんとするものあり（後段青島輸出高参照）以下三箇年の各港輸出高を示すべし（單位擔）

大 連	一九一四年	一九一五年	一九一六年
二二、七四一	二〇、八七一	一五、二〇七	

秦皇島	天津	芝罘	膠州	漢口	鎮江	上海	汕頭	廣東	其他
二六、四〇七	四五二、九八三	五五、七七四	二二四、五八八	一二六、二二五	一八二、六八〇	一三、〇三一	二五、二八九	六、〇四七	三七、二五九
二九、四九四	二七二、七七四	八一、一〇一	二、八三二	二四、六五二	一三二、一一七	三四、四二二	三二、四五五	二八、〇四	三四、九〇五
三、五七二	二四二、三三七	六七、一八七	四、七五六	二、六三三	二七、一二八	六九、九一九	二二、九〇〇	二九、七五九	二五、〇〇〇
									五〇、四四三

五、青島輸出近況

（イ）日獨戦前の輸出高

本品の青島に集り來る輸送徑路は概ね（一）萊蕪、新泰、蒙陰、泰安、大汶口等山東南部主産地のは津浦線にて濟南に集合し更に山鐵線にて當地に輸送せられ（二）齊東、博山、安邱、昌邑、諸城、王臺、平度産は附近山鐵各驛よりせられ三日照附近及び萊陽、海陽等のものは主として海路民船にて當地に著荷するを例とせり而して日獨戦前一九〇四年（明治三十七年）に在ては僅かに二萬一千五百十七擔を輸出したるに過ぎざりしが爾來漸進的に増加し一九一三年（大正二年）には實に百〇二萬五千四百八十六擔を算するに至れり即ち左表の如し

年 次	無穀品有穀品	計	年 次	無穀品	有穀品	計
一九〇四年	一、五九二	二、〇〇八	一九〇九年	三、三六六	二、〇五四	五、四二〇
一九〇五年	四、三三三	二、六九三	一九一〇年	四、〇四六	二、六九五	六、七〇一
一九〇六年	八、六三三	二、八三七	一九一一年	七、九七五	五、七五二	一三、七二七
一九〇七年	二五、七九	五、九三六	一九一二年	七、九四三	五、九六六	一三、九〇九

一九〇八年 七五九三 一九九六四 九五七六六 一九一三年 九〇六三七 二四八四九 一〇五四六六

（ロ）日獨戦後の輸出情況

大正四年（一九一五年）に於ける本品青島輸出の例年に比し不振なりしは前段少言せるが試みに其の各月中の輸出高を表示せば左の如し

	落花生		落花生油		計	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
一月	二六	銀四二三五	二六四	銀四三五六	二九〇	銀四七二一
二月	六二	銀五九四四	六七〇	銀一五三三	一三〇一	銀一七〇六
三月	七七八	銀八六四四	六〇〇	銀一六九〇六	一、三八八三	銀一八〇七〇
四月	一、四四〇	銀一〇、九三	三六八	銀六六七五	一、八〇八八	銀一三六九六七
五月	二八一	銀二、四六一	四九八	銀二五六三三	五七七九	銀二八〇八四
六月	三六四四	銀三、八八〇	一一九	銀一九、三三七	四七六三	銀五、一〇七
七月	二八六	銀二、二六七	九八九	銀一六九三三	二二七五	銀二九、二〇
八月	六三八	銀五、七五七	五〇八	銀八、八八二	一四六	銀一四四八五
九月	一四八五	銀一、三四二五	二八〇	銀一、三三〇	四二九三	銀五、一四五
十月	七〇二	銀六、三三五	八八〇	銀一五、一〇五	九五〇七	銀一五七、六三〇
十一月	三、四七七	銀三、二七三	三、八八八	銀六、六〇四	七、三六五	銀九八、一七七
十二月	四、三三三	銀三、四六七八	二、八三四	銀四、八六八五	七、〇九六七	銀八七、五二三
計	七、七五二〇	銀六、九九二四	五、八九七五	銀一〇、四八七四	一三、六四九五	銀一七四、二六五

越て大正五年（一九一六年）に入りては俄かに輸出旺盛となり落花生三萬四千二百二十三噸價額三百二十萬九千六百二圓落花生油一萬六千六百七十四噸、價額二百九十六萬七千〇三十七圓を見るに至れり蓋し前年に比し堰水一時に奔出するの概あり左に大正五年及び同六年の輸出月別及び仕向地別を示さんに

△大正五年輸出月別

	落花生		落花生油		計	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
一月	九七五七	銀八〇、五七七	一、四八二八	銀二五、四七五	一一、二三八五	銀一、〇五〇三三
二月	一六七三三	銀一四六、九二	一、五八四四	銀二六、六〇	一八、三一七	銀一、四九〇〇三
三月	一九六三三	銀一七、三三九	二、六三三	銀四、七〇一	二二、二六六	銀一、八八〇〇〇
四月	三、一四九	銀二八、〇五七	二、九七三	銀三、三九二	六、一二二	銀五、〇九九
五月	五、四四四	銀四九、二二	一、一九九九	銀二、〇六、二七	七、四四三	銀五、五三七八
六月	一、四〇九	銀一〇、九四三	一、〇八、二	銀一、八五、五三	二、四九一	銀二、八八五三
七月	一、八五、六四	銀二六、五〇三	一、三三三	銀一九四、七四	二、九八九七	銀三六、一三七
八月	一九〇七	銀一六、三六五	四九三〇	銀七、六四	六、九一七	銀八九九八
九月	二、〇八二	銀二〇、三六	三、三七二	銀六、八五四	五、四五三	銀八七〇八
十月	二八六	銀三、八九二	一九三九	銀三、〇八九	四、二二五	銀五、四七九〇
十一月	四、三八〇	銀三九、一九〇	一〇、七九二	銀一八、九九七	一五、一八二	銀一、七八一、四六五
十二月	九、〇六二	銀九五、三三八	四、二六五	銀八、八三七	一三、三二七	銀一、七八一、四六五
計	三、二一三六	銀三、二九六〇三	一、六六七四五	銀二九六、七〇七	五、八八一二	銀六、七六六九

△大正五年中汽船輸移出仕向地別（單位擔）

仕向地別	落花生		落花生油		計	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
大連	五、一八	銀二五、七六五	九、六六五	銀一〇四、九九〇	一四、八四五	銀一、〇一、一九五〇
上海	三七七三六	銀一、八四九、五一九〇	三、四一三五	銀三五八、一九六〇	四一、一五二	銀二、二〇七、七二五〇
天津			五四	銀九四八、〇〇	五四	銀九四八、〇〇
支那諸港	二、〇六八	銀二二、三二〇	五二八	銀七八、八五〇	二、五九六	銀二、一四〇、〇〇
香港	三、九三	銀二、七六〇〇	五、六三	銀六、九九〇〇	九、五六六	銀九、七五〇〇
仁川	一八	銀七、三三〇			一八	銀七、三三〇
日本	一、九三三七	銀八八、一七八〇	一、九三、三三	銀一、九三、三三〇〇	三、八七〇	銀三、八七〇〇〇
臺灣	一五〇	銀九、〇〇〇			一五〇	銀九、〇〇〇
計	五、二四九〇	銀二、七七一、九三五〇	二二、〇七六	銀二、七七一、九三五〇	二七、三二五〇	銀二、七七一、九三五〇

△大正六年中汽船輸出高(單位擔)

目次	有穀品	無穀品	落花生油	計
一月	一五	二八、九五	三、八七一	三〇、八一
二月	八四	四六、四四四	二、四〇四	七、五五三
三月		六、七一二	四、二五四	一〇、四四五
四月		四、五九六	二、五七三	七、一五九
五月		四、七〇三	三、〇一八	七、七三三
六月		三、四七四	三、〇九五	六、四六九
七月		二、五七八	九、三八三	三、七二
八月		二、〇〇六	四、三六六	一四、六三
九月		二、六三	一、九七三	一四、五八五
十月		一、七六	六、九三	八、七元
十一月	一四	九、八四	二、四三	二、三三
十二月	二三	八、一六	五、〇七五	二〇、九〇三
計		四〇、六七七	二五、七三八	六六、四八

△大正六年中輸出仕向地別(單位擔)

仕向先	有穀品	無穀品	落花生油	計
日本へ	一五	二六、二六	一四、八二五	二七、九八
香港へ	八三	一、四六	一、一九七	二、四四六
大連へ	二五	九、九三	五、二五〇	六、一八七
上海へ		一四、八三三	四、一七六	一六、〇〇〇
支那各港へ		一、五〇〇		一、五〇〇
其他へ		二、九、五〇	二、一、三六七	二、〇、九七
計	二三	四〇、六七七	二五、七三八	六六、四八

以上各表に示す如く本品の輸出期は概ね十一月より三月に至る間を最も盛況あるものと見るべく其の仕向地は大正五年に在ては落花生は上海を同油は日本を以て主位とし大正六年に在ても

亦同様の傾向を示せり而して近時穀品の輸出殆んど影を沒して無穀品のみの舞臺と化し逐年其の量を増大しつつあるは需要關係及び本省内生産の旺盛なるを窺ふに足るべし

◎淄川炭に就て

イ、炭層

淄川炭鑛の石炭は其の隣區なる博山炭鑛の石炭と同じく二疊紀生成のものにして廣く支那層石炭岩の上に發育分布せられ地質上博淄炭出と併稱せらる炭層は三群の主要層より成立し第一主要層五枚第二主要層四枚第三主要層三枚合計十二枚あり上層より下層に至るまで順を逐ひて支那人は第一行第二行第三行等と稱へ獨逸人は「アルハベット」名によりA層B層C層等と呼べり層厚は概して薄片にして三十珊乃至五十珊のものは小供を役として採掘するに適す下層即ち支那人の所謂九行層は極めて不規則に發育し厚薄の變化甚だしく且一般に礫石即ち支那人の所謂爆烘を以て蔽はる此に爆烘は火山岩の爲めに「コークス」化したものにして石質を帶び燃燒の際音響を發して炸裂するを以て普通の燃料に適せざるも石灰製造の燃料として最も適當なるものなりGH層は元來上中下三枚の石炭なるも密生して發育し中間に二條の「バーチング」を有する一枚層の如き觀を呈す層厚二米突五〇珊の内約七〇珊は「バーチング」なり此の層亦厚薄の變化多く所により五米突に膨大し「バーチング」も亦從つて膨大して一層として採掘するを得ざる部分あり層の下部は一般に硫黃分を含有すること多し之を要するに炭層は十二枚を有し其層厚の合計は約八米突に達すと雖も中には薄きに失して採掘に適せざるものあり或は硫黃

分多く或は粉末となり易き部分あるを以て實際の可採層厚は六米突内外と計算するを妥當とす之を撫順炭鑛の如き大厚層の炭田に比較するときは何人も當炭田の貧弱なるを感ずと雖も彼に在りては炭層厚きに失して採掘困難なれば填砂採炭法の如き方法を行はざるべからざるも當炭田は斯くの如き失費を要せず輕便に採掘し得らるゝの利益あり

ロ、炭量

淄川炭鑛の鑛區内に於る炭層擴布の面積は未だ調査を遂げざるを以て炭量を計算することを得ず獨逸が此の方面に於て炭鑛及び鐵鑛の鑛區として所有したる面積は膠濟鐵道の南北に跨りて約七百一平方吉米突一あり之を日本定尺換算する時は四十三方里八となり即ち二億一千二百八萬二千坪に達し略福岡鑛山監督所々管の採掘鑛區の面積と匹敵す此の内淄川炭鑛の鑛區は約四百十八平方吉米突にして金嶺鎮鐵鑛區は二百八十三平方吉米突一なり

千九百十三年十二月一日獨逸技師「オーデルマン」の調査報告に據れば炭量を左記の如く計算せり

一、淄川炭鑛の現在設備に於ける可採炭量面積十六平方吉米突、炭層の厚さを平均六米突として此の炭量九千六百萬噸

炭層支那名	炭層獨逸名	水	揮發分	固定炭層	膨脹性	灰分	灰分色相	全窒素	全硫黃	發熱量 (パール氏法)
一 行	A	〇、八一	八、四一	七二、〇一	膨脹粘結性	九八、七七	淡桃色	〇、八六一	一、一八	七三、五三
二 行	B	〇、八二	一五、九九	七一、四五	同	一一、七四	同	一、三二九	〇、九〇	八〇、六〇
三 行	C	〇、八七	一二、六六	七五、五七	同	一〇、九〇	同	一、二〇九	一、一七	七六、五七
四 行	D	〇、八二	一二、七二	八〇、九九	同	五、四七	淡黃色	一、一七八	〇、五九	八一、五三
四 行 (副)	d	〇、七四	一四、六六	七七、八五	同	六、七七	汚白色	一、一七八	〇、八三	八五、二五
五 行	E	〇、八八	一三、四七	六八、一八	粘結性	一七、四七	同	〇、八四七	〇、八九	七四、七一

(16×6=86,000,000.)

二、試錐地の炭量面積百三十平方吉米突あり此の炭量七億八千萬噸 (13×6=78,000,000.)

三、金鑛區の炭量面積百八十六平方吉米突あり此の炭量十一億千六百萬噸 (13×6=116,000,000.)

獨逸は鑛區内の各地に二十餘箇所の試錐を施して地質調査を爲したる跡あるを以て炭量の計算は之を信憑する外なしと雖も右の計算は甚だしく過大に見積りたるの疑あり第一炭層の厚さを平均六米突とせるも是れ淄川炭鑛現在の坑内の如き最も發育せる部分の層厚を以て鑛區全體の平均層厚とせること第二疊山其他山地の基礎を爲せる部分を炭量計算より除外せざること第三古來土人の採掘したる舊坑の面積を除外せざること是れなり故に精確なる炭量計算は此等の點を斟酌せざる可らず

ハ、炭質
下部夾炭層は石炭紀の生成に屬し上部に至るに隨ひ漸次に年代若きを以て炭質も亦炭層によりて異なれりと雖も大體に於て第一主要層は有煙炭第二主要層は半無煙炭第三主要層は無煙炭にして之を混合して燃燒する場合と雖も發煙極めて少く火力旺盛なり大正四年八月滿鐵中央試驗所に於て分析したる成績に依れば左の如く優秀なるを證せり

九行	九行(礪石)	十行(上)	十行(中)	十行(下)	十一行
F	IGH	GH	GH	GH	I
〇、九七	二、九九	〇、八四	一、二三	一、二四	一〇、六八
一三、七五	五、七五	九、九四	九、三一	一〇、四五	一〇、七二
七七、九七	八〇、九八	八四、三〇	八五、〇三	八四、二九	八一、四九
膨脹粘結性	不結性	膨脹粘結性	稍粘結性	粘結性	稍粘結性
七、三一	一〇、二八	四、九二	六、四三	四、〇二	七、一一
白	淡	灰	赤	淡	汚
色	桃色	色	褐	桃色	白
一、三六〇	一、三九一	一、二七〇	一、一七八	一、二六七	—
一、一九	二、七七	一、三一	二、六五	一、五七	〇、五六
七五、一〇	七〇、〇六	七四、四〇	七六、五七	七三、四七	六七、五八

ニ、日本にて販賣したる山東炭の結果炭種 Fe₀、I Duz (洗炭及び不洗炭混合せるもの) 山地機關長の報告下記の如し

Boiler Steamingとしての山東炭

(A) Natural draftに於ける效力

山東炭は性質必らずしも一樣ならざれ共概して揮發物少なくして固定炭素に富める石炭なるを以て特有の火力を充分發揮せんとするには高き熱度と強き通風とを要するが故に Steaming 用として Natural draft よりも Forced draft の方適當なること勿論なれども現今日本の各工場に於ては Forced draft の設備甚だ稀なるを以て Natural draft に對して有利に應用するの途を開かんが爲め當部にて種々研究の結果日本炭^{2/3}に本炭^{1/3}を混入すれば如何なる石炭と混和しても大に有利なる結果を顯はすこと確かに認められ昨冬以來本春にかけ各地工場に於て實地に試験したる結果によれば筑豊の一等炭と混合するも尙は一等炭一本以上の效力を顯はし一等炭以下如何なる石炭と混和しても頗る好結果を齎らすこと事實の證明する所なり今左に實地試験より得たる成績を列記して參考に供することとせり

兵庫鐘紡成績比較

炭名	汽罐ノ種類及 數	Draft	汽壓 一消	晝夜 量	灰分	煙機樣
山野粉炭	6 Lancer-Shire	Natural	160	57,665斤	23%	濃黑
山野粉 1/3	”	”	”	53,296斤	18%	淡黑
溜川粉 2/3	”	”	”	”	”	”

東京鐘紡成績比較

炭 名	汽 罐 比 種 類 及 數	Draft	汽 壓	一 箱 炭 重 量	灰 分	煙 機 樣
夕張粉炭	4 Lance-Shire	Natural	169	40,800斤	23%	濃 黑
夕張粉 2/3	"	"	"	36,250斤	18%	淡 黑
淄川粉 1.3						

三重紡績名古屋工場成績比較

灰分	一畫量	汽壓	Draft	汽罐之種類及數	炭名
淡黑	13%	110	Natural	3 Lancashire	田川粉炭
弱黑	19.00斤	"	"	"	田川粉炭 溜川粉 3.3

三重紡績尾張工場成績比較

炭 名	汽罐ノ種類及 數	Draft	汽壓	一消 量	灰 分	煙煤樣
金田粉炭	2 Lancashire	Natural	1.5	23,400斤	13%	
金田粉	2/3					
溜川粉	1/3					
				27,500斤	12%	淡 褐

(B) Forced draftに於ける效力

Natural draftに於ける成績は前記の如く良好なるが尙ほ適當なる Forced draftに應用すれば效力更に著しく且混炭せずして山東一本のみを使用し得らるべきを以て煤煙非常に稀薄となり經濟上以外に衛生上の特點を有し都市の工場に於ける燃料として大に注目を要すべき所なるべし當部は大に力を爰に注ぎ内地工場に於て適當なる Forced draft設備なるにも不拘既設の Natural draftを Forced draftに變更するに最も簡便なる Meldram 式を應用し大阪天滿織物會社の汽罐に敷設して實地試驗を施したり其の結果を見れば蓋し其の效力の一般を推知するに足るべし

大阪天滿織物成績比較

炭名	汽罐の種類及ヒ數	Draft	汽壓	一臺の消費量	灰分	煙厚
夕張粉炭	2 Jance Shire	Meldram Forced	160	32,000斤	16%	濃厚
淄川粉炭	"	"	"	29,400斤	13%	極稀薄

粉炭にして如上の好成績を顯はす以上は塊炭を Forced draftに應用すれば更に一層の效力あるべきと疑を容れざる所にして海陸孰れの汽罐に應用するも蓋し好個の燃料たるべし以上は三井物產會社専門技師の試驗成績にして淄川粉炭三分の一に他炭三分の二を混和して之を「ナチュラル、ドラフト」の汽罐に應用するも非常に經濟的なることを證し又「メルドラム、フォースド」の汽罐に應用すれば日本にて最も優秀炭の稱ある夕張炭をも凌駕するの事實を顯はせり之を要するに淄川炭は中央試驗所の成績に於て其性分の優良なるを示し又海軍及び民間の實地試驗に於て之を裏書したるものと云ふべく殊に煤煙を厭ふ都會地の燃料として將來大に賞用せらるべき運命を有する特種炭なること

を知るべし

ホ、販路

淄川炭鑛石炭の販路に就ては四圍の關係上決して良好と言ふを得ず第一附近に博山炭鑛あり淄川炭と同一の炭田にして炭質も類似す土人の採掘盛に行はれ冬期は其數六七十個所の多きに上る此等の土法採掘は滿洲方面に行はるゝものよりも稍進歩したるものにして何れも簡單なる堅坑を掘鑿し其の大なるものを大井といひ小なるものを小井と名づく大井は單純なる捲揚機械及び排水機を備へ付くるも小井は人力又は馬力を使用す元來同地方の炭田は斷層多くして大規模の採炭困難なりと雖も土法の採炭に適し其の設備は極めて「ブリミチヴ」なるを以て費用を要すること少なく坑内延長して採炭困難となるときは之を抛棄して又他の處に開坑す此の如く小規模の採炭なるも全體を通じて一箇年優に三十萬噸乃至三十五萬噸の出炭を爲し之を小車にて博山驛に搬出し同地に於ける三十三戸煤廠によりて各地に販賣せらる而して其の石炭の原價は博山驛を距ることの遠近によりて差違あるも概して低廉なるを以て淄川炭に對する不斷の競争者となり強力なる壓迫者となるなり第二章邱炭鑛又は其の他各地に散在する土法炭鑛も亦博山地方の如き多量の出炭なしと雖も何れも附近市場に搬出せられて淄川炭の販路に幾分の障礙を與ふるなり第三津浦鐵道の南半には沂嶧々田あり其の中興公の經營する嶧縣炭鑛は支那人によりて洋式を以て採炭せられ炭質佳良上等の骸炭製造に適す又近頃開坑せられたる抑泉炭鑛の如きも上等の石炭を津浦鐵道に供給す孰れも淄川炭の強敵にして泰安を超へて濟南市場を窺ふことあり第四津浦線の北半及び天津地方は開採炭地の利を得て獨り販路を占有し時に德州を

青島貿易

青島貿易は逐年盛況を呈し其の輸出貿易の如き仕向地需要の擴

大と農産物及び同加工品の生産高増大とに因り益々活氣を帶び特に歐洲戰亂に依る需給關係の好影響は内地同様亦此の方面に一生涯を開けるものゝ如し假へば石炭、コークスの如き又は鹽の如き内地新事業の勃興工業製作場の増設或は化學工業界の新機雲に伴ひ其の需要頓に増加し其の供給範圍更に擴大され如上輸出品の勢力甚だ旺盛なるものあり加ふるに山東名農產品たる落花生及び落花生油、豆油等の氣勢を高むるあり以て當地輸出貿易は近時異數の發達を遂げんとしつゝあり、左に大正六年中の輸出入貿易額を示さんに

月輪		總噸數	價額
入	出		圓
三三、一九三・七	二八、八〇七・九	三、二八六、九三一・〇	四
六一、〇〇一・六		五、六一九、八五九・三	三
		八、九〇六、七九〇・三	七

[illegible]

十二月 輸		計	
出	六五、六一五・九	入	三一、五三〇・五
出	四、八七五、〇二〇・四〇	入	九七、一四六・四
出	四、九八九、八五三・八九	入	四四六、二八七・三
出	九、八六四、八七四・二九	入	四四、九七二、二六五・八七
出	六五、八九三、〇八三・一六	入	八二四、三八二・七
出	一一〇、八六五、三四九・〇三	入	八二四、三八二・七
出	四、八七五、〇二〇・四〇	入	三一、五三〇・五
出	四、九八九、八五三・八九	入	九七、一四六・四
出	九、八六四、八七四・二九	入	四四六、二八七・三
出	六五、八九三、〇八三・一六	入	四四、九七二、二六五・八七
出	一一〇、八六五、三四九・〇三	入	八二四、三八二・七
出	四、八七五、〇二〇・四〇	入	三一、五三〇・五

輸 出 貿 易

大正四年	大正五年	大正六年	總噸數	價	額	總噸數	價	額
一七七、〇八六	二九四、七三六	四四六、二八七	一四、〇九三、九九九	一八一、四七三	二二、一八五、〇六八	二二、一八五、〇六八	三五八、五五九	三六、二七九、〇六七
二九四、七三六	四四六、二八七	四四六、二八七	二九、四九八、九五七	二四三、五四六	三六、五二二、八一八	三六、五二二、八一八	五三八、二八二	六六、〇二一、七七五
四四六、二八七	四四六、二八七	四四六、二八七	四四、九七二、二六六	三七八、〇九五	六五、八九三、〇八三	六五、八九三、〇八三	八二四、三八三	一一〇、八六五、三四九

以上の如く輸出輸入何れも前年に比して著しく増大し其の大正四年に對比するときは當に倍額以上の發達を示せり若夫れ各航船腹關係の層一層圓滑自由なるものあらんか昨年中に於ける貿易額は猶一段の力量を現はしたるべく觀測さるものあり要するに青島貿易は年を逐ふて發展殷賑の一方にして當地諸般の施設經營完備すると共に奥地の開發鐵道輸送力の充實等相俟て今後愈々出で、愈々熾んならんとするは全く欣幸に値す

海 運 及 鐵 道

◎海運 奥地農産物の出荷は一月に入りて愈々活氣を加へ來り各航定期船のみを以てしては所詮意の如くならざるものあり

從て臨時船の出入益々頻繁を呈し何れも船腹好況なり本月中入港汽船は總數七十四隻六萬六千四百七十三噸にして内日本船六十二隻四萬九千九百四十三噸、英國船五隻七千六百五十九噸、米國船三隻五千三百三十二噸、露國船一隻八百九十一噸、支那

七萬二千二百六十五圓、輸入に在ては三十七萬八千〇九十五噸價格六千五百八十九萬三千〇八十三圓、合計八十二萬四千三百八十二噸價額一億一千〇八十六萬五千三百四十九圓に達し輸出の輸入に超過すること六萬八千九百九十一噸なり而して更に之を大正四年同五年に比較するときは

輸 入 貿 易

大正四年	大正五年	大正六年	總噸數	價	額	總噸數	價	額
二二、一八五、〇六八	三六、五二二、八一八	六五、八九三、〇八三	三五八、五五九	六六、〇二一、七七五	一一〇、八六五、三四九	二二、一八五、〇六八	三五八、五五九	三六、二七九、〇六七
三六、五二二、八一八	六五、八九三、〇八三	六五、八九三、〇八三	五三八、二八二	八二四、三八三	一一〇、八六五、三四九	三六、五二二、八一八	五三八、二八二	六六、〇二一、七七五
六五、八九三、〇八三	六五、八九三、〇八三	六五、八九三、〇八三	八二四、三八三	一一〇、八六五、三四九	一一〇、八六五、三四九	六五、八九三、〇八三	八二四、三八三	一一〇、八六五、三四九

船二隻一千五百三十四噸、其他一隻一千百十四噸にして日本船の荷揚は主として麥粉、高粱、紙、綿絲布、燐寸、砂糖、煙草鮮魚、白米、食料品雜貨を、英國船は綿絲布、竹材、小麥粉、紙、雜貨を主とし、支那船は麥粉、小麥、竹材、雜貨を陸揚せり而して出港船は總數七十八隻八萬五千二百九十九噸にして内日本船は六十六隻六萬八千七百六十噸、英國船五隻七千六百五十九噸、米國船三隻五千三百四十一噸、露國船一隻八百九十一噸、支那船二隻一千五百三十四噸、其他一隻一千百十四噸を算し積荷としては主として日本船に在りては生油、石炭、鹽、コークス、野菜、果實、桐材、雜貨を、英國船は葉黃、生油、野菜、雜貨を、米國船は牛肉を、露國船も亦牛肉を、支那船は牛油、雜貨を其他に在りては苦力を搭載出港せり而して更に對日本内地航路關係は西京丸の代船として伊勢丸、營口丸出入し臺北丸、薩摩丸亦依然本航路に従事し積荷の内輸入に屬するは主に綿絲布、砂糖、セメント、蜜柑、麥、燐寸、酒、鮮魚及海産

物を輸出に屬するは生油、牛皮、落花生、牛骨、桐材、牛肉、麥稈眞田、眞鍮塊を以てせり、對上海航路には神丸、潮北丸、天潮丸を、對大連航路には龍平丸、漳洲丸、第十六共同丸を、朝鮮航路には江原丸の仁川に航するあり其他各航路共夫々臨時船の出入を見、貿易品滯貨の聲は餘り大ならざるもの、如し但し津浦線運輸力の圓滑及び山鐵との連絡實施竝に山鐵輸送力の増大を今後實現する曉には船腹關係亦頗る多忙なるものあるは自明の理たり、翻て小港戎克の情勢を探ぬるに本年は目下の處昨年無比し寒氣も餘程軟弱の方なるも歲末及び年始に懸けての北風酷烈寒冷亦一入甚しかりしたため小港内結氷あり戎克の出入全然不自由となりたるを以て昨年の例に倣ひ舞鶴濱棧橋一帯を開放貨物積卸の便に供せられたるため一時同海岸は戎克を以て満たされたるも昨今暖氣遽かに加はり小港も解氷し出入上差程の支障なきに至りたるを以て前記臨時開放所を閉鎖せり貨物も目下農産物の出廻期に際せるに付頗る好況を呈しつゝあり

◎鐵道 山東鐵道も亦奧地農産物の出廻旺盛に伴れ目下輸送力頗る多忙なり殊に石炭、コークスの需要近時頗る増加し博山の如きは自然的滯貨の狀態に陥り之が搬送方に就ては當局も夫々手筈中なるも何分刻下の輸送上に於ては遺憾の點少からずとなされ又農産物は津浦線を通じて到來するもの少からざるも之も支那時局の影響に依り津浦線輸送圓滿ならず爲に當地市場に在ては鐵輪に對する怨嗟の聲稍や高きに似たり但し山鐵にては鐵道部當局に於て屢々日支外人の意見を徴し改善革新の途を計りつゝあれば追々見るべきものあるに至るべし而して十二月及一月上旬の營業成績を舉ぐれば

	十二月中	一月上旬	一月下旬
乗車人員	一八三、三五四人	六六、四二四人	六二、八二四人
乘客貨	一二一、三九五圓餘	四四、一六三圓餘	四四、〇六八圓餘
手荷物貨	四四五圓餘	一二〇圓餘	二三六圓餘
小荷物貨	三、三一三圓餘	七八一圓餘	一、〇五四圓餘
小口扱噸數	七三三噸	二二六噸	二四六噸
小口扱運賃	八、七〇六圓餘	二、五四五圓餘	二、八四六圓餘
一車扱噸數	六五、五七二噸	二四、五〇二噸	二二、三六九噸
一車扱運賃	二五九、七五〇圓餘	九四、一一九圓餘	九〇、二七七圓餘
雜收入	一、八五四圓餘	五二七圓餘	六九三圓餘
收入概算	三九五、四六六圓餘	一四二、二五八圓餘	一三九、一七五圓餘

以上の如くにして猶ほ一日平均收入概算は十月に在ては九千〇三十五圓、十一月は一萬二千二百二十八圓、十二月は一萬二千七百五十六圓に當れり而して青島市内三驛の發著貨物は從來と大差なく其の到著に在ては農産品なる落花生及び同油、豆油、天產品たる石炭及びコークス等之に生牛等を最多とし發送に在ては綿絲布、燐寸、煙草、石油、砂糖等を以てせり、生牛の到著近時益々熾んなるは各地山東牛肉の需要増大に因り、石炭の著驛頻繁旺盛なるは當地需要關係の密接なるものあるに主因せり苦力は發送開始以來一月中旬迄の總數英國行六萬九千四百七十一名佛國行六千三百八十七名計七萬五千八百五十八名に達せり

金

融 (一月中)

本月中銀塊竝に爲替相場の概況を見るに、銀塊相場は最高四十五片八分ノ一にして最低四十三片四分ノ一を示せり當月は四十三片半に始まり倫敦在荷少なりし爲め相場昂進したるも其の後供給夥多となり相應の需要ありたるも相場下向きたり然れど

も上海に於ける爲替相場は同地金融逼迫の爲め常に強氣なりしを以て銀塊相場も亦變動少く常に保合の状態を續けたり爲替相場は日本向電信爲替相場百四十四圓五十錢を最高とし百三十八圓五十錢を本月中の最低相場とす本月は支那節季に際せるを以て上海市場金融逼迫甚だしく同地實際の取引は香上銀行建相場より常に一圓五十錢内外の高値を以て賣買せらるゝ有様にして節季詰るに従ひ益々其の勢ひを増し銀塊相場の下落香上銀行の相場引下げに拘はらず相場は反つて昇進し香上銀行も時々市場相場に逆行する能はざるが爲め引下げたる相場を再び引上ぐるの止むを得ざるに至りたることありたり當地は月初め百四十一圓に始まり百四十圓二十五錢にて終りたり、當地は目下輸出時期なるを以て金融逼迫せるも上海市場の逼迫甚だしきが爲め同地に送金するもの非常に多く濟燕公所五日目上海向手形は九百五十兩前後の相場を唱へ最高九百五十二兩を呼びたることあり如何に上海向送金の必要ありしかを知るに足る近來内地騷擾の結果輸入品の賣行悪しきに反し輸出品代金として濟南に送金するもの多かりしかば濟南向相場は前月に比し反對の傾向を示し昇進し月末に至り稍や緩和したり

商 品 概 況 (一月中)

◎**牛皮** 當地牛皮の實情は常に原產地たる濟南市場と日本皮革界の需要關係に依り振不振の度を明らかにする状態に在り就中冬期需要期間に於ける日本内地市價の一上一下は直ちに當市場に影響を及ぼすものなれば取引關係は最も深慮を要するものあり當地に於ける取扱業者は極少數にして確實なる特約先を有

せざる輸出業者は多くは其の效を奏し難きに似たり本月末に於ける當地在荷約十二萬斤、昨今濟南よりの入荷頻繁なれば二月上旬には約十五萬斤を算する見込みなり之れ一は支那正月切迫に伴ひ金融關係の然らしむるに因由す左に内地、濟南、青島三市場に於ける最近價格を示さんに

大	皮	上 旬			中 旬			下 旬		
		内 地	青 島	濟 南	内 地	青 島	濟 南	内 地	青 島	濟 南
中	皮	八十六圓	三十四圓	三十五圓	八十五圓	三十四圓	三十五圓	八十五圓	三十四圓	三十五圓
	皮	七十五圓	三十五圓	三十五圓	七十五圓	三十五圓	三十五圓	七十五圓	三十五圓	三十五圓
	皮	七十五圓	三十五圓	三十五圓	七十五圓	三十五圓	三十五圓	七十五圓	三十五圓	三十五圓
小	皮	二十八圓	二十六圓	二十六圓	二十八圓	二十六圓	二十六圓	二十八圓	二十六圓	二十六圓
	皮	二十八圓	二十六圓	二十六圓	二十八圓	二十六圓	二十六圓	二十八圓	二十六圓	二十六圓
	皮	二十八圓	二十六圓	二十六圓	二十八圓	二十六圓	二十六圓	二十八圓	二十六圓	二十六圓

◎**白米** 市況依然として高値を保ち昨年三斗八一俵上五圓五十錢のもの今年八圓八十錢に、中は五圓三十錢より八圓六十錢に、下は五圓二十錢より八圓五十錢見當に騰貴せり

◎**燐寸** 日本内地生産側漸次減退の傾むきあり之れ職工勞銀の騰貴、包装材料の高値と軸木供給の不足に基く現象にして從つて相場益々上向きの状態に在り當市場も之れに連れて取引閑散なるに拘はらず賣手強固相場手堅き方なり市價上等二十四兩五匁見當とす

◎**砂糖** 久しく沈衰の状態を持續せる瓜哇糖も英國筋の買付けによりて荷動き稍や良好に向ひたるものゝ如くなるも新糖の増收四百二十餘萬擔と註せらるゝ一方船腹拂底輸送不自由に基く相場の壓迫は前途俄かに樂觀を許さざるものあり、當地市況

は農産物の出廻増加と共に山東奥地筋と青島間爲替相場を順調に向はしめ且つ舊年末需要を眼前に控へ居る事とて實需、思惑筋の買氣簇出し十二月以來引續き荷動き活潑の方なり相場は一體に手堅く保合ひ白糖四温六兩、赤糖一號四兩二匁見當にして中旬以後奥地需要筋の一順買付けを終り市場多少閑散の方なるも舊正月アケの見越根強く容易に安値賣出しの聲を聞かず至つて強氣なり

◎コークス 當地よりの輸出品は主として博山産に屬し仕向先きは日本内地に在り當地及び沿岸の需要消費高は極めて少量にして刻下の大需要は内地金屬製煉、工業製作方面の消費に俟つもの多し、本品の内地に於ける市況は炭價の漸騰とコークス原料炭の騰貴に因り一體に前途高値見込の傾向あり當地に於ける市價F、O、B青島一英噸金二十二圓乃至三十圓、C、I、F、横濱一英噸金四十圓乃至五十圓にして產地たる博山驛發の數量は(昨年七月より十二月末迄)濟南著七千三百五十噸、沿線著のもの一千三百七十八噸、青島著一萬八千七百噸なり

◎洋酒 市況昨年に比すれば幾分良好の賣行あり但し價格は著しく昂騰しウキスキー一本(上)四圓のもの今年五圓(中)二圓二三十錢より三圓に(下)一圓四五十錢より二圓に、ボートワイン(上)二圓二三十錢より三圓(中)一圓四五十錢より二圓(下)一圓二三十錢より一圓五十錢見當に何れも騰貴せり蓋し歐洲戰のため船腹其他の關係上輸入自由ならず運賃高等其主因とせらる

◎清酒 清酒類の當地に於ける賣行は比較的良好なるが内地原料品價格騰貴のため一體に値上げされ加ふるに瓶、箱等材料騰貴に因り益々値上げの情勢を示せり本場攝津灘生産側に於て

は需要高に伴ふ價格變動の調節として既に四斗詰一樽二圓、一升瓶一本十錢方値上を決行し之に連れて當地も亦夫々値上げを見たり昨上年上等もの四斗五升入一樽三十圓より今年三十七八圓に中もの二十二三圓より三十圓に上騰せり

◎麥酒 當地大日本麥酒の製品は昨年四月より賣出したるため需要關係の好否等は猶ほ未知數に屬すとなさるるも當年は一體に氣温緩和二三月頃よりは各方面其活潑なる注文出現の傾向あり從て釀造高も或は八萬乃至九萬箱を算する見込みなり但し需要更に増大の徵あるときは猶ほ釀造能力を擴大すべく觀せらる市況は目下稍や閑散價格箱十二圓五十錢見當なり

◎木炭 石炭窮乏に伴ひ木炭の需要頓に増大し一時市價混亂の徵ありしも思惑輸入等ありて的中し幾分暴騰の期を脱したる觀あり目下需要期と石炭の市價騰貴配分意の如くならざるに依り市況頗る取引あり市中相場六貫入一俵金二圓二十錢より三圓二十錢の間に在り滿洲ものは八貫入二圓二十錢乃至三圓見當なり

◎鶏卵 當地昨今の市況は不振の方にして毎年四五月より七月頃までを最も取引熾なる時期とす殊に目下農產品の好況なると養鶏界閑散なるとに因り山東もの、出廻りは捗々しからず當地よりの輸出先きは戰前多く浦沙を指したるも國情紊亂ルーブル下落等のため目下同方面への搬出は殆んど立消のの有様なり取引市價千銀十八圓見當とす

◎牛肉 山東牛肉の需要は愈々各方面其旺盛となり浦沙行の如きは本年三月頃までに約一萬頭分を屠殺輸出の筈其他マニラ行も依然として衰わす加ふるに日本内地行近時益々盛んとなり

每航十頭乃至二十頭分の積荷あり屠獸場は日々約三百頭を算し
大多忙を呈しつゝあり特に内地行生肉の輸送方に就ては當業者
間夫々研究中にて現在の輸送法を以てしては所詮春期に入りて
の運搬思はしからず特に設備上の問題ともなり船腹との關係も
起り目今大に考慮されつゝあり蓋し内地諸物價の昂騰に因り牛
肉の供給充分ならず遠く東京方面に在りて山東牛の需要愈よ熾
んなるに至りたれば輸送上の懸念一掃され月千頭位の供給可能
とならば始めて該地市價昂騰の厄を拂ひ得となされ當地屠獸場
の擴張説など出て、山東牛の輸出に就ては大に注意を拂はれつ
ゝあり、當市中食用としての市價は現にロース百目金二十二錢
見當にして昨年一月頃に比すれば多少騰貴の方なり

◎石炭 當地炭界の近況は例年に比し著しく變動を呈せる傾
きあり即ち客臘需要期に入ると共に各種工業界及び市中一般消
費側竝に輸出側に在りて殆んど一齊に需要氣を高め近年稀れな
る活氣を帶ぶるに至れり此の情勢は本年に入ると共に益々歩を
進め天産として殆んど無限の聲ある山東産も急に之に應ずるの
遑なく寧ろ極端なる市況を出現せんとし炭價の暴騰は必然的に
起らんとしたるも大供給側に在りて默止せず極力之れが調節策
を講じたるため目下に於ては稍や緩和の觀あり一時は炭質優良
なると船運に依り他炭に比し幾分高價なる撫順炭さへ十二月末
に在て販賣高約二千七百二十八噸を算し爾後多少の需要減あり
たるも猶は契約炭引渡未了に屬するもの約三千噸に達せるは當
地炭界緊張の一例として察するに足るべし爲めに商人中此の機
に乗じ暴利を貪らんとするものなきにあらざる實情あれば其の
防止策に就て鐵道部販賣側及び市内大供給側に於て頗ぶる苦慮
心勞を致し漸やく大禍なきに至れり然れども昨年の當月に比す

れば著るしく昂騰し目下淄川炭一噸銀十圓五十錢（昨年八圓五
十錢）博山炭同十五圓（昨年八圓）日本炭同十七圓（昨年十一圓）
撫順炭十六圓（昨年十圓十錢）見當なり

◎木材 歐洲戰亂の餘沫は支那各市場に於ける本品の荷動き
に多大の影響を及ぼしたり從來北滿材及び鴨綠江材は當方面需
要の最も大なるものありしに亞米利加もの輸入杜絶のため該材
の搬入意の如くならず却つて日本に向ふもの算を爲すの狀態に
在りされば當市場に於ける近況は益々木材の缺乏を訴へ市價奔
騰の觀あり蓋し材料不足難、船腹不自由、船運昂騰、銀價狂奔
騰等各種の因由するものあるは勿論にして之に應ずるの道は
當業者に在りても夫々苦心の態なれば今後當地事業界の振興、
建築材料の需要高に連れ春暖の候に入らば材木界は一段の氣勢
を昂め供給上大努力の概あり或は近年稀なる景況を出現すべし
市價北海道産松挽材並四分板一坪銀一圓四十錢、正銀二圓、一
寸角一本十五錢の見當なり

◎煙草 市中昨今の氣向きは日本人向としては敷島、朝日に
在るも製造元に於て當地需要の急に合致せず時々不足難を告げ
つゝあり支那人向としては依然「百圓」の聲高きも昨年に比すれ
ば幾分氣受外れの觀あり之れと同時に「スピア」の氣向き大に上
り殊に舊年末年始の賣出し景品附などにて意外の呼び聲あるに
似たり

◎豆油 一時米國の禁油入電の爲め内地及び本品取扱側に多
少の危惧を與へたるも當市場に在ては差したることなく昨今稍
や搬出期を終りたる觀あり而して日本に於ける植物油の買付け
は米國本場を筆頭に諸外國よりの注文剎到の有様なれば今後益

益氣勢高を現はすに到るべく當地大正五年中の輸出九萬八千八百八十二擔、大正六年は十萬七千〇七十六擔にして約八千九百擔の増加なり市價初旬に在て銀十六圓二十錢より十七圓八十錢に上進し目下品薄底堅き情況に在り

◎鹽 内地鹽の缺乏、化學工業の勃興に依り膠州鹽の搬出愈々旺盛を極め當地官憲に製鹽出願を致すもの續出の有様なり當局に於ても成るべく本天產品の活用方に就き利便を與へつゝあれば將來期せずして青島鹽の名をなさしむるに至るべく觀測せらる目下各方面共事業著手中製鹽としての搬出は寧ろ今後に在り

◎綿絲布 舊臘活躍を演じたる綿絲布界は引續き米棉昂騰の入電と春高見越しに因り人氣一層昂進し三品初相場十圓高を告げ其の後共連騰當限實に三百六十圓を突破し新春初頭先づ素晴しき氣勢を示したるも中旬に入り偶々米棉の小緩みを動機とし人氣一轉反動安を招致して高値より三十圓方の崩落を見るに至れり而して爾後相場は三品現物共に米棉の一高一低に連れて騰落し結局大氣迷ひの裡に當月を送れり、當地は月初め大阪の奔騰に連れて相場漸進、一時16扇面の百四十五兩(一月十日)を示したることもあるも前月末引續き支那時局の紛争及び土匪の横行津浦線の運輸難之に金融の逼迫等にて濟南を始め各地共一體に在荷薄を告げつゝ而かも猶ほ依然として必需の外殆んど買進まざるため市況至て閑散沈靜の方なり月末に及び舊正月切迫により愈々買氣薄となり唯僅に當地問屋筋の一二が舊正月アケ後の賣宛に多少の買入をなしたる外取引らしき取引を見るに至らざりき故に當地市況は常に阪地及び上海に比し逆鞘を示し一時は大阪相場と十六手廿圓20手實に卅圓方値開きのを見たるあり其

後本國相場の低落に連れ漸次鞘寄せ來れるも猶ほ著しく逆鞘の成行きを示せり、綿布市況亦始終不振を極め阪地とは常に著しく下鞘の成行を以て粗布天竺類小口の取引を見たるに過ぎず、三品現物相場左の如し

△大阪三品相場 四日(發會大引)				十日(前場大引)				廿八日(前場大引)			
一	月	三三七・七〇		三六三・五五		三三二・〇〇		三三二・〇〇			
二	月	三四〇・五〇		三六六・九〇		三三五・〇五		三三五・〇五			
三	月	三四三・四〇		三六八・九五		三三七・九五		三三七・九五			
四	月	三四三・〇〇		三七〇・〇〇		三三九・九五		三三九・九五			
五	月	三四三・五〇		三六九・五〇		三四〇・四〇		三四〇・四〇			
六	月	三四五・三五		三七一・〇〇		三四〇・五〇		三四〇・五〇			
△大阪現物相場				十日				廿八日			
16	扇面	三一〇・〇〇		三二〇・〇〇		三〇二・二〇		三〇二・二〇			
20	日鳥	三三五・〇〇		三五七・〇〇		三三四・〇〇		三三四・〇〇			
粗	布	一一・〇〇		一一・三〇		一〇・三五		一〇・三五			
△青島現物相場				十日				廿八日			
S	16 扇面	一四〇・〇〇		一四五・〇〇		一四二・〇〇		一四二・〇〇			
16	藍魚	一四一・〇〇		一四五・五〇		一四三・〇〇		一四三・〇〇			
16	花蝶	一四一・五〇		一四六・〇〇		一四四・〇〇		一四四・〇〇			
16	紅月	一三九・〇〇		一四二・〇〇		一四〇・〇〇		一四〇・〇〇			
20	日鳥	一五四・〇〇		一五九・〇〇		一五四・〇〇		一五四・〇〇			
20	福島	一五五・〇〇		一五九・〇〇		一五五・〇〇		一五五・〇〇			

◎石油 本品の當方面に於ける實際需要期は晚秋初冬の候に在るも爾後引續き荷動き盛なり但し日本油に在りては日本原産各地本年稀れなる降雪のため搬出全く意の如くならず價格も狂騰の厄を免る能はず當地も之に連れて品薄殆んど地を拂ふの有様なりしも當業者奔走各方面より買集め需要筋の氣を容れつゝあり目下本品當市場在荷約二千箱にして需給全からざる情勢を保てり市價青四圓八拾五錢、赤四圓六拾五錢見當にして外油

側に在ては從來と大差なく荷動きあり市價美阜虎印一函五圓三十七錢、亞細亞僧帽一函四圓九十七錢乃至五圓見當なり

◎落花生及落花生油 一時小港結氷のため民船搬入困難なると津浦線支那時局のため回送方不自由のため例年三四月の頃買付けを始むる廣東帮は本年は舊冬末より年初めに亘り買付けをなせしため十二月中七圓見當のもの俄かに九圓臺に騰貴するに至り且つは内地に於ける植物油外國側より大買付け始まりたる情報等にて氣勢上りたるも小港結氷に對する應急策としては舞鶴濱海岸開放の事あり津浦線に於ける軍隊輸送も最早差したることなく従て本品の入貨漸く愁眉を開くものあり相場漸落の傾向あり但し原產地に於ては落花生七弗同油十七弗見當にて商談起るも支那人側先高見越などにて容易く手放さんせせず取引多少捗々しからざる模様なり然かし大體に於て本年は實價不良なるも作付け増加の爲め收穫は意外に多く加ふるに例の津浦線事故のため上海行を見合はせるもの青島に出廻る等のため本年は昨年に比し著しく輸出高を増大すべく觀せらる而して當年は落花生(無殼有殼共)實よりは落花生油の輸出旺盛なるは一に需要關係と農産側の覺醒に基く現象とせらる左に十二月中旬より一月上旬に至る輸出概況を示さんに

		十二月中旬		同 下旬		一月上旬		計	
		組	個	組	個	組	個	組	個
日本へ	二九、九九二			二三、五二二		八、九一七		六二、四三一	
支那諸港へ	八四九			六、七五九		一六、一八一		二三、七八九	
香港へ	—			六三九		—		六三九	
大連へ	—			七五〇		—		七五〇	
上海へ	—			三、七三〇		一六、九六七		二〇、六九七	
計	三〇、八四一			三五、四〇〇		四二、〇六五		一〇八、三〇六	

		日本へ		一七、〇〇八		二二、三七〇		一四、五六七		五三、九四五	
		組	個	組	個	組	個	組	個	組	個
支那諸港へ	—			三八一		—		三八一		—	
香港へ	—			三一七		—		三一七		—	
大連へ	—			六七一		—		一、六九二		—	
上海へ	—			—		—		—		—	
計	—			二二、七二七		—		二四、七六〇		—	

即ち本期間に於ける落花生の輸出高は十萬〇八千三百〇六擔にして日本仕向を最多とし落花生油に在ては六萬三千〇五十四擔にして之亦日本仕向を最多とせり而して一月中旬より四五月頃に及ばず輸出更に一段の増加を加ふる情勢に在り目下當市場の取引價格落花生百片銀九圓五拾錢落花生油銀拾九圓見當にして低堅き方なり而して内地より米國向船腹は浦鹽の不穩其他の原因により俄に減少を來し爲に神戸市場に移りたる生油は輸出力不足の爲却て産地相場より低位に在り從て利喰物の續出と月末對日爲替の不利とにより目下手合せは一挫頓の形を示せり

内外經濟彙報

▲東京手形交換高 昨年中の手形交換高は枚數六百五十五萬七千七百五十枚金額百二十八億五千四百八十八萬九千二百四十二圓にして前年に比し金額三十七億七千七百七十七萬百八十一圓枚數に於て百萬八千九百四十枚の激増なりと

▲大阪手形交換高 昨年中の手形交換高は枚數四百七十萬四千〇十五枚金額百八億四千七百五十七萬五千四百八十二圓にして前年に比し枚數七十萬八千四百九十九枚金額に於て四十八億一千二百四十一萬四千九百七十八圓の激増なりと

▲昨年の日本貿易 日本に於ける昨年一月以降十二月下旬に至

●●●朝鮮の貿易金額●●● 朝鮮全半島に於ける大正六年度の貿易額は輸出八千三百七十七萬五千餘圓輸入一億三百八十八萬六千餘圓合計一億八千六百六十六萬二千餘圓を計上し五千五百四十萬三千餘圓の増加なれば約四割二分増進せりと

●歐洲交戰國戰費 大藏省の最近調査に據れば大正三年七月より大正六年七月に至る三箇年間の歐洲各交戰國の戰費は約二千

十二億千九百三十萬圓にして一日の戰費は一億八千四百八萬一千五百圓に當り最近に於ては益々増加せりと

●大連の貿易噸數 大連に於ける貿易狀態は逐年發展の一方にして昨大正六年中の輸出貿易高は二百十八萬噸餘、輸入八十三萬噸餘、合計三百一萬噸餘にして開埠以來の新記録を示せり猶は奥地よりの到著貨物は三百三十萬噸なりと

●大連港出入船舶 昨年十二月中大連港に於ける出入船舶は入港船百六十六隻、二十六萬三千九百九十一噸、出港船百五十八隻、二十四萬三千五百噸にして之れを國籍別に見る時は日本の百三十五隻を主位とし支那英國米國和蘭露國の順

●上海日本人會社 昨年中上海に於て日本人の新設に係る會社數は合資八、合名一、株式十二計二十一社にして同年十二月十日現在の總數は七十一社なり即ち昨一箇年間に於て約四割二分の増加を見たる譯にて漸次堅實の歩を進むと

●大商船總會 大阪商船株式會社株主總會は二十四日天王寺公會堂に開かれたり

●三井總資額 三井物產會社は二十二日定期總會に於て現資本二千萬圓を一億圓に増資の件決定せりと

●大日本麥酒 大日本麥酒會社にては今回事業擴張資金に充當する目的を以て來る四月一日を期限とし新株一株に付五圓宛の拂込を徵收する事に決定したりと

●神戸棧橋株 神戸棧橋株式會社は二十四日總會を開き今期配當普通二割創立三十五年記念配當年八割都合十割の配當及二月

一日限り一株に付十二圓五十錢拂込を徵收すと
●大倉組擴張 大倉組は今回從來の資本金一千萬圓の株式會社大倉組以外更に新に資本金二千萬圓の大倉組鑛業株式會社及び資本金二百萬圓の株式會社大倉土木組を大倉組より分離新設したりと

青島雜錄

●名刺交換會 恒例に依り一日午前十一時市民會大廣間に於て在青官民合同祝賀名刺交換會を開く出席無慮一千名正午散會

●在鄉軍人會 在鄉軍人青島分會は五日午前九時市民會大廣間に於て新年祝宴會を開き本郷司令官の臨場あり

●消防出初式 恒例消防出初式は四日青島憲兵分隊に於て行はる

●山東水產成 山東水產株式會社は愈々創立總會を六日市内島福に於て開催定款、本店、支店の位置及魚市場繼承の件、役員の選舉等を終り成立せり社長には民政部技師早乙女忠國氏本官を辭し就任の筈

●中學生來青 廣島中學校生徒二十名見學旅行のため來青戰跡及び沿線の情況を見十日臺北丸にて出發歸校

●原料品割引 山東鐵道輸送工業原料品運賃割引問題は今回愈々實行せらるゝことゝなり鐵道部より夫々成案通牒を發せりと

●輸出博山炭 博山炭輸出に關し山鐵運賃割引期限延長の件は調査の結果三井、東和、鈴木、大倉組、中村組取扱に對し今年中割引の特典を與ふることゝなれり

●獨語講習會 青島守備軍獨逸語講習會は今回偕行社内を設置

十日より開始せり

●葉煙草輸送 二十里堡より上海宛輸移送したる葉煙草は昨年十月十六日より十二月二十五日迄に二百十五樽二千六百二十二噸に達せりと

●倉庫地貸下 小港埋立地の肴町及び敷島町は倉庫地として最適の場所なるか三月頃まで諸般の整理設備を了へ然る上出願者に貸下の運びに至るべしと

●福昌公司立 大連福昌公司是今回當地に支店を設立し鑛業及び器械類の販賣を開始する由

●貸下地々割 市街設備完成の瀬戸町弓張町間及び市場通三丁目と李村町間、中野町花咲町等は何れも地割を終り夫々貸下の開始を見るべしと

●燐寸小箱製 青島燐寸會社の經營に成る臺東鎮、河西、李村の三箇所に於ける燐寸小箱製造傳習所は目下支那少女百五十餘名を收容し二週間に教授し修業後材料二、三萬箱分を交付し製作回收の手運びなる由

●發電所收入 青島發電所に於ける昨年十二月中の電燈收入は燈料、動力及電球代等を合計し二萬一千三百九十三圓九十一錢に上り之を前月に比するときは三千圓餘の增收なる由

●埠頭現業員 今回埠頭事務所にては現業員の服裝を一定することとなり總て鐵道部員現業者と同一のものに改めたる由

●新製粉工場 長川、鹽川兩氏の經營に成る直隸町の共榮公司新製粉工場は元獨逸人の従事せしものなるが今回同氏等に依り借受け操業を開始せる由

●魚市場成績 一月上旬魚市場の成績は當地漁獲支那人物雜魚

三十三貫十九圓十四錢日本人もの二百四十一貫二百〇三圓三十九錢にして内地輸入物は千三百十五貫三千八百六十三圓八十八錢なりと

●外人招待會 阪口鐵道部長の歐米人招待茶話會は十八日午後五時グラントホテルに於て開催、埠頭の鐵道業務に就き夫々意見を交換し九時散會せり

●日昇組織更 日昇銀號は今回株式會社組織に變更し本店を東京に當地を青島營業所として一般銀行業務を取扱ふ由

●現在人力車 青島現在人力車數は千八百三十臺にして昨年初に比すれば約八百三十臺の激増なりと

●支那人銀行 青島商務總會副會長成蘭圃、扶桑官膏局劉子山の兩氏及當地在住灘縣出身支那人實業家の發企に依り當地に銀行業を開始せんとし名稱を東華銀行として諸般の手續中なりと

●電報受付時 從來公衆電報受付取扱時間は青島本局に限り午前七時より午後十時までなりしも二月一日より大港及び大鮑島兩局に於ても本局同様の時間内之が取扱をなす由

●蔬菜糶市場 總代和田巡太郎氏の名義に依り當地に蔬菜果實類の糶市場を設けんとし其筋に出願せり資本金は三萬圓なりと

●寒天製造所 當地怡信洋行の經營に成る沙水口寒天製造所は目下試験的製造を行ひつゝあるか原料の豊富及び勞銀の低廉等のため將來有望なる趣目さる

●鐵鑛區發見 管内海西半島濠北頭に有望なる鐵鑛區を發見之が試掘を出願したるものあり目下當局に於て詮議中の由

●花生粉製造 李昆山なる支那人花生粉製造を計畫し資金募集中の處既に豫定額に達したるを以て近く官許の上濟南に工場を

建設すべしと云ふ同氏は米國留學生出身なるが元來落花生粉は歐米に於て珈琲代用品其他の製菓用として聲價あり山東に原料の豊富なるを以てし將來有望なるものと目さる

●青島義士會 二十六日義士討入の當夜、偕行社に於て青島義士會を開き二百餘名來場せり

●天然氷採取 天然氷の採取に就ては昨年迄は一切之を許されざりしが本年よりは特に許可したる者に限り採取を認むることとなりたる由採取地としては城陽及び沙子口附近を主要なるものとせり

●人事(一月中)

▲白土主計正 陸軍二等主計正白土哲郎氏は安藤主計正の後任として十七日着任
▲杉本醫官 青島病院李村分院長杉本浩三氏は七日着任▲石山福治氏 九日來青
十三日出發▲田原天南氏 十日來青十三日出發▲中西正樹氏 十一日臺北にて内地へ▲安藤主計正 陸軍二等主計正安藤良溫氏は二十五日臺北九にて出發赴任▲山本中尉 青島攻陷以來勤務中の陸軍歩兵中尉山本義彦氏は二十五日臺北九にて出發轉任▲熊谷中學校長 青島中學校長熊谷政直氏は學事視察のため東京▲小川博士 理學博士小川琢治氏は先般來民政部の囑託に依り地質調査中の處完成三十日薩摩九にて歸京

法 規

○青島守備軍民政部所管建物貸下規則(大正七年一月二十八日軍令第六號)
第一條 青島守備軍民政部所管建物ノ貸下ヲ受ケムトスル者ハ

左ノ事項ヲ具シ民政署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
一、國籍住所氏名職業生年月日

二、建物ノ所在地

三、使用ノ目的及期間

第二條 借受人ハ貸下ヲ受ケタル建物ヲ轉貸スルコトヲ得ス
第三條 借受人貸下ヲ受ケタル建物ノ模様替ヲ爲サムトスルト

キハ其ノ理由ヲ具シ設計書及設計圖面ヲ添へ民政署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第四條 貸下料ハ月額ニ依リ民政署長之ヲ定ム但シ一箇月ニ滿タサル期間アルトキハ日割計算トス

第五條 公用ニ供シ又ハ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲民政部所管建物ヲ貸下クルトキハ其ノ貸下料ヲ減免スルコトアルヘシ官ニ於テ相當ト認メタル事由ニ因一箇月以上貸下建物ノ全部又ハ一部ヲ繼續シテ使用スルコト能ハサルトキ亦同シ

第六條 貸下期間内ト雖官ニ於テ必要ト認メタルトキハ貸下建物ノ返還ヲ命シ又ハ前項ノ處分ニ因リ變更スルコトアルヘシ借受人ニ於テ損失ヲ受クルコトアルモ官ニ對シ其ノ補償ヲ求ムルコトヲ得ス

第七條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ貸下建物ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ貸下料ヲ還附セス
一、借受人退去ヲ命セラレ又ハ第二條若ハ第三條ノ規定ニ違反シタルトキ

二、貸下料ヲ納付セサルトキ

第八條 民政署長ハ本規則ニ基キ必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○外國人取締規則(大正七年一月十四日軍令第一號)

第一條 敵國人ニ非サル外國人ニシテ軍ノ占領地域内ニ入ラムトスル者ハ自國官憲ノ發給セル旅券又ハ證明書若ハ帝國ノ領事又警察官憲ノ發給セル證明書ヲ携帶スヘシ

自國官憲ノ發給セル旅券又ハ證明書ニハ寫眞ヲ添付シ又ハ人相ヲ明記スルヲ要ス

第二條 官ニ於テ必要ト認ムルトキハ旅券又ハ證明書ヲ檢閲スルコトアルヘシ

第三條 第一條ニ違反シ又ハ前條ノ檢閲ヲ拒ミタル者ハ百圓以

下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ支那人ニ之ヲ適用セス

外國人ノ軍政施行地域出入規則ハ之ヲ廢止ス

○支那關稅條例

支那國定關稅條例全八箇條は左の如く民國六年十二月二十五日附大總統令第二十八號を以て公布せられたり(芳澤支那臨時代理公使報告)

第一條 凡ソ外國貨物ノ支那通商各港ニ輸入スルモノハ應サニ本條例定ムル所ノ稅率ヲ按シ輸入稅ヲ徵收ス但シ條約ヲ以テ協定セルモノハ其ノ協定ニ從フ

第二條 國稅稅率ハ從價ヲ以テ之ヲ定ム唯タ從量件數ニ依ルヲ便利トスルモノハ從量稅則ヲ適用スルヲ得

第三條 課稅價格ハ海關從來ノ評價法ヲ參照シテ之ヲ定ム

第四條 輸入ノ外國貨物ハ別ニ規定アルモノ、外其ノ課稅定率左ノ如シ

(一)奢侈品價格百分ノ三十乃至百(二)無益品同百分ノ二十乃至三十(三)資用品同百分ノ十乃至二十(四)必要品同百分五乃至十稅率表ハ財政農商兩部及稅務所ヨリ本條ノ所定各率ニ依リ會同釐定ス

第五條 稅率表中各種貨物ニ對シ若シ課稅ヲ加重スルノ必要アル時ハ政府命令ヲ以テ隨時酌定シ之ヲ公布スヘシ

第六條 凡ソ免稅及輸入禁止ノ物品ハ均シク現行辦法ニ依リ辦理ス但シ政府ハ隨時之ヲ酌量増減スル事ヲ得

第七條 外國貨物ノ輸入正稅ヲ納付シタル後支那商人ニ依リ内地ニ輸入費消スルモノハ海關從有ノ規則ニ依リテ口稅ヲ徵收ス

第八條 本條例公布後財政部稅務所ハ施行細則及施行期日ヲ酌定スル事ヲ得

因に本條例は既に協定稅率を締結せる我國其他の條約國の貨物に對しては何等の適用なきものにして其の適用を受くるものは單に無條約國の貨物に止まるを云ふ

倫敦銀塊相場

○一月中倫敦銀塊相場左の如し

一	日	休	十二日	四十五片八分一	二十三日	四十三片八分七
二	日	四十三片二分一	十三日	日曜	二十四日	同
三	日	同	十四日	四十五片八分一	二十五日	四十三片八分五
四	日	四十三片四分三	十五日	同	二十六日	同
五	日	四十四片四分三	十六日	四十四片八分七	二十七日	日曜
六	日	日曜	十七日	同	二十八日	四十三片二分一
七	日	四十五片八分一	十八日	四十四片四分三	二十九日	同
八	日	同	十九日	同	三十日	同
九	日	同	二十日	日曜	三十一日	四十三片四分一
十	日	同	二十一日	四十四片四分三		
十一	日	同	二十二日	四十四片四分一		

◎大正六年中同相場最高最低表

目次	最	高	最	低	目次	最	高	最	低
一月	三七片十六分七	三六片	七月	四一片四分一	三月	三七片十六分七	三六片	三九片二分一	
二月	三八片十六分七	三七片二分一	八月	四六片	四月	三七片十六分五	三六片四分三	四〇片八分一	
三月	三七片十六分五	三五片四分三	九月	五五片	五月	三七片十六分五	三六片四分三	四六片	
四月	三七片十六分五	三六片四分三	十月	五五片	六月	三八片八分一	三七片四分三	四六片	
五月	三八片八分一	三七片四分三	十一月	四五片八分三	七月	三九片十六分一	三八片	四二片二分一	
六月	三九片十六分一	三八片	十二月	四三片八分七	八月			四二片四分三	

青島ノ物價 (十二月)

(民政部調査)

一、食料品													品名
白米													建物
同印特選赤	同青	同黒	特選一等	同	同	同	同	同	同	同	同	同	單位
一石	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	當月ノ價格
三〇・〇〇〇	二八・〇〇〇	二七・〇〇〇	二三・〇〇〇	三二・〇〇〇	三七・〇〇〇	三五・〇〇〇	三一・〇〇〇	三一・〇〇〇	一三・五〇〇	一二・八〇〇	一一・〇〇〇	九六・〇	前月ノ價格
三一・〇〇〇	三〇・〇〇〇	二九・四〇〇			三六・〇〇〇	三四・〇〇〇	三二・〇〇〇	一一・五〇〇	一〇・八〇〇	九・〇〇〇	九六・〇	六六・〇	當月ト前月トノ差
▲一・〇〇〇	▲二・〇〇〇	▲二・四〇〇			●一・〇〇〇	●一・〇〇〇	▲一・〇〇〇	●二・〇〇〇	●二・〇〇〇	●二・〇〇〇	×	×	
干物類													品名
干瓢	推茸	昆布	凍豆腐	凍麩	劍先	二番	上節	中節	下節	鮭	鱒	鱈	建物
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	單位
百目	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	當月ノ價格
三五〇	二・〇〇〇	一八〇	一五〇	一三〇	七〇〇	三五〇	一・三〇〇	一・二〇〇	一・一〇〇	二五〇	一五〇	一五〇	前月ノ價格
三五〇	一・四〇〇	一六〇	一四〇	一三〇	七〇〇	三五〇	一・四〇〇	一・三〇〇	一・二〇〇	二三〇	一六〇		當月ト前月トノ差
×	●	●	×	×	×	×	▲	▲	▲	●	▲	×	
六〇〇	〇二〇	〇一〇					一〇〇	一〇〇	一〇〇	〇二〇	〇一〇		

綿糸		三、雜貨		木材		セメント		ハイント		洋釘		亞鉛板		鐵板		丸鐵		二、建築材料		片、棗		挽割麥		隱元豆		
金三馬	花蝶	扇面十六手	日鳥	五子二十手	同	同	分並板	北海松止六	小野田	同	阿部錆色	1平均5	同	浪板	同	平板	五入二厘	十三入	5/8平均3/4	三ボンド入	花割	花割	角割	角割		
同	同	同	同	一俵	同	一材	一坪	一樽	一樽	同	同	同	同	同	同	同	一枚	百目	一罐	一袋	同	同	一升			
一三四・〇〇	一三七・〇〇	一三五・〇〇	一四五・〇〇	一四五・〇〇	〇九〇	一一〇	二・八〇〇	六・五〇〇	七・四五〇	三・二〇〇	一八・〇〇〇	三・一〇〇	二・四〇〇	三・四〇〇	三・〇〇〇	六・八〇〇	二・七五〇	二二・〇〇〇	一・四〇〇	二二〇	二二〇	六〇〇				
一三二・〇〇	一三六・〇〇	一三五・〇〇	一三七・〇〇	一三七・〇〇	〇八〇	一一〇	二・七〇〇	六・五〇〇	七・四五〇	三・二〇〇	一八・〇〇〇	三・一〇〇	二・四〇〇	三・四〇〇	三・三五〇	七・一五〇	二・九五〇	二二・〇〇〇	一・四〇〇	二二〇	二二〇	六五〇				
●	●	×	●	●	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	▲	▲	▲	×	×	×	●	×	▲			
二・〇〇〇	一・〇〇〇	八・〇〇〇	八・〇〇〇	〇一〇	〇一〇	一〇〇								三五〇	三五〇	二〇〇				〇一〇		〇五〇				
棉		黃豆	落花生	小麥	大麥	高粱	白米		一、農畜產品及加工品		木炭	麥粉	石油	石炭	石炭	磷	燐	綿布								
壽老人	無殼品	同	同	同	同	同	同	同	同	上海一等品	丸	同	同	人吉小丸	竹	綠兵船	星福印	亞細亞增帽	美阜虎	寶田赤金勝	若松塊炭	雜牌	雙仙	得寶	龍	藍魚
一袋	同	同	同	同	同	同	同	同	同	百五十斤	同	同	同	六貫目俵	同	一俵	同	同	同	一箱	一噸	同	同	大箱	同	同
二・五〇〇	三・三〇〇	三・三五〇	七・七〇〇	五・六〇〇	二・八〇〇	三・二〇〇	三・五五〇	三・六〇〇	七・〇〇〇	七・一〇〇	九・二〇〇	二・〇〇〇	二・二五〇	二・六五〇	二・三〇〇	二・五五〇	五・五二〇	五・四二〇	五・一〇〇	五・五二〇	四・五〇〇	二・三・〇〇	二・四・〇〇	二・四・〇〇	五・〇〇	
二・五〇〇	二・九〇〇	二・八五〇	六・九〇〇	六・〇〇〇	三・二〇〇	三・〇〇〇	三・一〇〇	六・九〇〇	七・一〇〇	九・二〇〇					二・四〇〇	二・六〇〇	五・五二〇	五・四二〇	五・一〇〇	五・四二〇	四・三〇〇	二・一・五〇	二・二・五〇	二・三・五〇	四・四〇	一・三・七〇〇
×	●	●	●	▲	▲	●	●	×	×						▲	▲	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●
二・五〇	五・〇〇	八・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	四・〇〇	五・五〇	五・〇〇	一・〇〇							一・〇〇	〇五〇					一・五〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	五・〇〇	

[illegible]

統 計

○青島輸出入貿易品 Exports and Imports from and into the port of Tsingtao.

輸 入 ノ 部 (十二月) Imports. (Dec.)

品 目	Articles.	單位 Unit.	數 量 Quantity.	品 目	Articles.	單位 Unit.	數 量 Quantity.
米	Rice.	噸 Ton	1,446.1	藥 品 材 料	Medicines.	噸 Tan.	357.9
豆 類	Beans, pear pluse.	"	23.8	機 寸	Matches.	"	1,826.6
高 梁	Kaoling.	"	1,404.4	染 料 及 塗 料	Dyes and colours.	"	102.9
玉 蜀 黍	Maize.	"	—	セ メ ソ ト	Cement.	"	380.5
其ノ他穀類	Other Grains.	"	166.2	綿 絲	Cotton yarn.	"	2,697.2
麥 粉	Flour Wheat.	"	2,683.7	絹 糸	Silk yarn.	"	24.2
蔬 菜	Vegetables.	"	106.6	麻	Hemp.	"	23.9
果 實	Fruit.	"	539.6	棉 花	Cotton. Raw.	"	253.5
茶	Tea.	"	42.5	綿 布	Cotton tissues.	"	640.5
白 砂 糖	Sager, white.	"	402.7	絹 布	Silk tissues.	"	9.3
赤 砂 糖	„ Brown.	"	942.8	麻 袋	Gunny bag.	"	156.9
冰 砂 糖	„ Rocks.	"	114.2	其他布帛及同製	Other manufactures of tissues.	"	40.1
鮮 魚	Fish.	"	139.2	品			
海 產 物	Sea Products.	"	1,027.8	洋 物 雜 貨	Other European goods	"	268.7
清 酒	Sake.	"	371.3	日 本 紙	Paper, Japanese.	"	21.1
洋 酒	Liquor.	"	12.2	西 洋 紙	Paper, European.	"	408.9
支 那 酒	Wine, native.	"	20.7	支 那 紙	Paper, chinese.	"	1,475.6
麥 酒	Beer.	"	6.8	書 籍 及 繪 畫	Books and pictures	"	19.9
清 涼 飲 料	Mineral water.	"	16.5	石 炭	Coal.	"	202.5
醬 油	Soy.	"	72.4	コ ー ク ス	Coke.	"	—
味 噌	Per cheese.	"	27.6	煉 瓦	Bricks.	"	0.8
食 料 品 雜 貨	Other provision.	"	336.7	陶 磁 器	Porcelains and earthenwares.	"	98.2
卷 煙 草	Cigarettes.	"	581.4	硝子及同製品	Glass and Manufac- tures of iron.	"	183.0
刻 煙 草	Tobacco, prepared.	"	11.0	鐵	Iron	"	231.9
葉 煙 草	Tobacco.	"	0.7	其ノ他ノ金屬	Other metals.	"	3.4
革及同製品	Leathers manufac- tures of cowhide.	"	4.7	釘 類	Nails.	"	31.4
牛 皮	Cowhiae	"	14.1	金 屬 製 品	Metals, manufac- tares of.	"	220.1
桐 油	Oil, wood.	"	29.7	尺 度 及 權 衡	Scale and weights.	"	5.8
石 油	Kerosene oil.	"	6,664.2	車 輛 及 同 部 分 品	Vehicle and parts.	"	7.3
其ノ他油類	Other oil.	"	112.0	電 用 品	Electrical materials	"	273.8
蠟 燭	Candle.	"	24.7	機 械 及 同 部 分 品	machinery and that parts.	"	91.7
石 鹼	Soap.	"	63.5	竹 及 同 製 品	Bomboo, ware.	"	387.2
麥 稈 眞 田	Straw braid.	"	8.2	木 材	Lumber.	"	1,159.8
蓆 類	Matting.	"	60.1	木 炭	Charcoal	"	273.3
漆 器	Lacquered wares.	"	7.9	阿 片	Opium	"	1.1
衣 類 及 家 具	Clothing and furni- ture.	"	77.7	其 他	Other goods.	"	1,737.9
豆 粕	Bean cake.	"	37.7	合 計	Total.	"	31,530.5

輸 出 部 Exports.

品 目 Articles.		單位 Unit.	數 量 Quantity.	品 目 Articles.		單位 Unit.	數 量 Quantity.
生 牛	Cattle, living.	Ton.	—	藥 品 材 料	Medicines.	噸 Ton.	14.2
落 花 生	Ground nuts.	"	6,401.6	燐 寸	Matches.	"	18.3
豆 類	Beana, peas pluse.	"	—	染 料 及 塗 料	Dyes and Colours.	"	15.2
穀 類	Other grains.	"	15.3	綿 絲	Cotton yarn.	"	24.6
麥 粉	Flour wheat.	"	—	絹 絲	Silk yarn.	"	40.2
蔬 菜	Vegetables.	"	46.8	絹 屑 絲	Sillk waste.	"	121.3
果 實	Fruit.	"	476.8	麻	Hemp.	"	2.0
白 砂 糖	Sugar, white,	"	5.0	棉 花	Cotton Raw.	"	89.2
赤 砂 糖	„ Brown.	"	—	繭(屑繭ヲ含ム)	Cocoor.	"	0.7
冰 砂 糖	„ Rock.	"	—	綿 布	Cotton tissues.	"	24.9
豆 素 麵	Macaroni, Beans	"	—	絹 布	Sillk tissues.	"	49.6
鮮 魚	Fish.	"	—	麻 袋	Gunny bag.	"	25.9
海 產 物	Sea products.	"	10.1	其他ノ布帛及同製品	Other manufactures of tissues.	"	1.6
牛 肉	Meat.	"	555.7	洋 物 雜 貨	Other European goods.	"	1.5
鹽 豚	Salt pork.	"	6.2	紙	Paper.	"	11.8
其他ノ獸肉	Other fresh.	"	—	石 炭	Caol.	"	17,826.1
鷄 卵	Eggs.	"	37.5	コ 1 ク ス	Coke.	"	7,592.4
卵 白 及 卵 黃	Egg, albumen and yolk.	"	—	陶 磁 器	Porcelains and earthen wares.	"	—
酒 類	Kinds of Sake.	"	0.1	硝子及同製品	Glass and manufactures.	"	63.2
麥 酒	Beer.	"	758.8	鐵	Iron.	"	39.5
清 涼 飲 料	Mineral water.	"	—	眞 鍮 塊	Brass.	"	657.8
鹽	Salt.	"	15,834.0	其 他ノ金 屬	Other metales.	"	32.3
食 科 品 雜 貨	Provisions.	"	12.6	金 屬 製 品	Metales manu factures of	"	7.4
卷 煙 草	Cigarettes.	"	4.0	車 輛 及 部 分 品	Vihiel and parts.	"	0.1
刻 煙 草	Tobacco, prepared.	"	—	機 械 及 同 部 分 品	Machininery and parts.	"	7.5
葉 煙 草	Tobacco,	"	4,004.4	木 材	Lumper.	"	324.3
牛 骨	Bones, cow.	"	515.2	蓆 類	Matting.	"	—
其 他ノ獸骨	Bones animals.	"	—	麥 稈 眞 田	Straw braid.	"	51.2
牛 皮	Cowhide.	"	438.3	衣 類 及 家 具	Clothing and furniture.	"	40.4
其 他ノ獸皮	Skins, animal.	"	6.3	豆 粕	Bean cake.	"	139.8
羊 毛	Wool.	"	188.1	其 ノ 他	Other goods.	"	103.9
豚 毛	Bristle.	"	90.2				
落 花 生 油	Ground nuts oil.	"	4,591.8				
豆 油	Oil, Beans.	"	1,244.1				
桐 油	Oil, wood.	"	—				
牛 脂	Tallow.	"	306.0				
豚 油	Lard.	"	—				
石 油	Kerosene oil.	"	—				
ヒ マ シ 油	Castor oil.	"	85.0				
其 他ノ油類	Other oil.	"	0.1				
蠟 燭	Candle.	"	—				
石 鹼	Soap.	"	—	合 計	Total.	"	62,963.9

○青島三驛發著重要貨物數量 (十二月) Quantity of goods sent-forth and arrived at the three Station in Jsingtao.(Dec.)

品 名 Staple Commodities.	青 島 驛 Tsingtao.		大 港 頭 Ta-Chiang.		埠頭荷扱所 Whf. Station.		計 Total.		十 一 月 November.	
	發送 Sent-forth.	到 著 Arrived	發送 Sent-forth.	到 著 Arrived	發送 Sent-forth.	到 著 Arrived.	發送 Sent-forth.	到 著 Arrived.	發送 Sent-forth.	到 著 Arrived.
石 炭 Coal.	90.5	533.5	90.0	60.0	30.0	4,731.0	210.5	5,324.5	—	4,064.0
コークス Coke.	—	143.2	15.0	45.1	—	6,009.0	15.0	6,197.3	—	4,395.2
木 材 lumber.	25.4	84.9	31.4	276.6	38.8	25.0	95.6	386.5	329.8	703.5
鐵 材 Iron.	253.7	56.5	—	12.0	47.5	—	301.2	68.5	307.6	46.0
大 豆 Soja bean.	—	9.5	51.1	—	—	—	51.1	9.5	316.9	2.4
高 梁 Kaoling.	25.0	—	114.4	—	920.7	—	1,060.1	—	328.7	—
小 麥 Wheat.	—	35.7	—	228.2	—	—	—	263.9	59.9	712.1
落 花 生 Groundnut.	—	1,160.4	—	3,633.5	—	1,651.0	—	6,444.9	—	757.1
麥 粉 Flour wheat.	324.7	1.7	109.6	—	704.1	—	1,138.4	1.7	599.7	1.6
綿 布 Cotton tissues.	309.9	4.4	1.4	—	15.0	—	326.3	4.4	608.6	9.3
綿 絲 Cotton yarn.	1,000.3	3.0	26.4	—	14.8	0.2	1,041.5	3.2	1,660.3	20.6
石 油 Kerosene oil.	60.0	59.6	1,210.6	—	994.0	—	2,264.6	59.6	4,903.5	253.0
落花生油 Ground nut oil.	—	163.4	—	3,365.2	—	—	—	3,528.6	—	275.9
豆 油 Bean. oil.	—	53.0	—	696.8	—	—	—	749.8	—	2,860.0
牛 油 Tallow animal.	—	29.5	—	80.8	—	89.9	—	200.2	—	145.7
砂 糖 Sugar.	635.3	—	20.3	—	550.0	—	1,205.6	—	973.7	—
煙 草 Cigarettes.	149.5	11.5	14.8	—	101.6	—	265.9	11.5	181.4	13.8
葉煙草 Tobacco.	—	—	—	—	—	—	—	—	—	663.0
獸 骨 Bones, animal.	—	122.8	—	175.2	—	262.3	—	560.3	—	521.3
牛 皮 Cowhide.	76.5	18.4	—	23.2	—	46.1	76.5	87.7	12.8	215.9
豚 皮 Skins, pig.	—	197.3	—	—	—	—	—	197.3	—	24.2
魚 類 Fish.	172.7	0.6	0.2	—	0.2	—	173.1	0.6	85.6	0.8
海 產 物 Sea products.	58.3	—	—	—	349.1	—	407.4	—	146.9	—
燐 寸 Matches.	176.1	—	25.2	—	321.1	—	522.4	—	280.8	—
家 具 Furniture.	2.0	0.8	—	—	—	—	2.0	0.8	0.1	4.2
麻 袋 Gunny bag.	52.5	10.1	32.3	1.2	—	0.2	84.8	11.5	64.9	18.2
紙 類 Paper.	193.2	1.6	9.9	—	57.9	—	261.0	1.6	144.2	1.9
石 灰 Lime.	—	105.0	—	—	—	60.0	—	165.0	—	615.0
銅 Copper.	1.6	—	—	8.7	—	295.8	1.6	304.5	—	313.0
繭 Cocoon.	—	5.9	—	—	—	10.3	—	16.2	—	100.4
計 Total.	3,607.2	2,812.3	1,752.6	8,606.5	4,144.8	13,180.8	9,504.6	24,599.6	11,008.4	16,738.1
生 牛 Cattle. Living	—	3,564	—	—	—	—	—	3,564	—	3,593

○青島港出入汽船數(大正六年) S. S. Entered and Cleared the harbour of Tsingtao(1917)

Month.	Flag.	日本		英國		佛國		米國		其他		計	
		隻數	噸	隻數	噸	隻數	噸	隻數	噸	隻數	噸	隻數	噸
		No.	Tons.	No.	Tons.	No.	Tons.	No.	Tons.	No.	Tons.	No.	Tons.
一月	入	50	38,515.22	3	3,674.00	—	—	1	4,308.00	4	6,573.51	58	53,070.73
	出	49	37,203.45	3	3,674.00	—	—	1	4,308.00	4	6,573.51	57	51,761.96
二月	入	70	43,572.63	4	4,515.66	—	—	1	2,510.00	5	2,092.06	80	52,690.35
	出	71	43,124.19	4	4,515.66	—	—	1	2,510.00	5	2,092.03	81	52,241.91
三月	入	91	55,680.49	6	6,967.46	—	—	1	2,510.00	11	4,540.64	109	69,698.59
	出	89	53,076.66	6	6,967.46	—	—	1	2,510.00	11	4,540.64	107	67,094.76
四月	入	89	55,089.53	7	19,674.19	—	—	—	—	4	4,364.93	100	79,128.64
	出	89	53,829.32	6	15,405.44	—	—	—	—	4	4,364.93	99	73,599.69
五月	入	50	38,825.09	6	14,670.97	—	—	2	5,020.00	4	2,632.01	62	61,148.07
	出	52	42,865.93	7	18,739.97	—	—	2	5,020.00	4	2,632.01	65	69,257.94
六月	入	50	33,609.31	7	15,564.63	—	—	—	—	8	4,498.98	65	53,672.92
	出	50	36,220.95	7	15,564.63	—	—	—	—	7	3,897.46	64	55,683.04
七月	入	54	46,450.41	8	18,872.12	—	—	—	—	5	4,133.63	67	69,456.16
	出	54	45,341.05	8	18,872.12	—	—	—	—	5	4,133.63	67	68,346.80
八月	入	50	43,023.27	7	16,250.24	—	—	1	2,510.00	—	—	58	61,783.51
	出	50	43,235.70	7	16,250.24	—	—	1	2,510.00	—	—	58	61,995.94
九月	入	43	41,325.05	7	19,907.20	1	3,263.00	—	—	2	5,603.00	53	70,098.25
	出	46	44,363.27	6	11,024.20	1	3,263.00	—	—	2	5,603.00	55	64,253.47
十月	入	54	48,352.75	2	2,160.25	—	—	2	3,920.00	—	—	58	54,433.00
	出	54	45,208.55	3	11,043.25	—	—	2	3,920.00	—	—	59	60,171.80
十一月	入	54	46,689.70	4	14,366.87	1	7,546.00	1	2,510.00	—	—	60	71,112.57
	出	52	44,784.77	4	13,023.75	1	7,546.00	1	2,510.00	—	—	58	67,864.52
十二月	入	69	59,176.64	4	20,075.33	1	7,337.00	2	3,920.00	3	3,213.52	79	93,722.49
	出	66	58,014.93	4	20,075.33	1	7,337.00	2	3,920.00	3	3,213.52	76	92,560.78
計	入	724	550,310.09	65	156,698.92	3	18,146.00	11	27,208.00	46	37,652.28	849	790,015.28
	出	722	547,271.80	65	155,156.05	3	18,146.00	11	27,208.00	45	37,050.76	846	784,832.61

○青島出入帆船(大正六年) Sailing Vessels entered and cleared (1917)

月次 Month.	入港 Entered.	日本船 Japanese.		支那船 Chinese.		合計 Total.	
	出港 Cleared.	隻數 Number.	積荷噸數 Shipments.	隻數 Number.	積荷噸數 Shipments.	隻數 Number.	積荷噸數 Shipments.
一 Jan.	"	—	—	244	1,241.47	244	1,241.47
	"	1	145.00	251	848.80	252	993.80
二 Feb.	"	11	127.00	771	2,537.83	782	2,664.83
	"	11	127.00	799	2,558.73	810	2,685.73
三 Mar.	"	7	75.00	2,699	11,861.97	2,703	11,918.97
	"	11	64.00	2,760	4,670.77	2,771	4,734.77
四 Apr.	"	4	351.30	2,605	13,918.91	2,609	14,270.21
	"	4	301.00	2,628	3,896.34	2,632	4,197.34
五 May.	"	16	617.81	2,202	12,077.30	2,218	12,695.1
	"	15	782.00	2,202	4,405.59	2,217	5,187.59
六 Jun.	"	31	994.50	2,832	14,358.79	2,863	15,353.29
	"	31	913.00	2,880	3,665.70	2,911	4,578.70
七 Jul.	"	13	636.00	3,462	14,790.06	3,475	15,426.06
	"	13	488.80	3,430	2,104.22	3,443	2,593.03
八 Aug.	"	11	1,071.00	4,267	16,510.73	4,378	17,581.73
	"	7	762.00	4,400	2,500.64	4,407	3,262.64
九 Sep.	"	11	933.00	2,766	8,605.00	2,777	9,538.00
	"	14	994.50	2,755	1,712.32	2,769	2,703.82
十 Oct.	"	7	1,024.50	2,251	6,372.20	2,258	7,396.70
	"	9	1,182.00	2,318	1,566.23	2,327	2,748.23
十一月 Nov.	"	—	—	2,447	9,433.80	2,447	9,433.80
	"	—	—	2,348	1,926.30	2,348	1,926.30
十二月 Dec.	"	1	28.40	1,459	6,808.80	1,460	6,837.20
	"	1	78.66	1,504	5,681.30	1,505	5,759.96
計 Total.	"	112	5,840.51	28,105	118,516.86	28,217	124,357.37
	"	117	5,837.96	28,275	35,536.94	28,392	41,374.10

○青島出入汽船旅客數(大正六年) Passengers by steamship. (1917)

月次 Month.	上陸 Landed.	日本人 Japanese.		支那人 Chinese.		其他ノ外國人 Europe, American.		合計 Total.			
	乗込 Embarked.	男 Male.	女 Female.	男 Male.	女 Female.	男 Male.	女 Female.	男 Male.	女 Female.	計 Total.	
一 Jan.	月	"	536	212	4,115	77	5	5	4,656	294	4,950
		"	834	244	485	76	11	10	1,330	330	1,660
二 Feb.	月	"	635	317	3,532	158	13	15	4,180	490	4,670
		"	449	182	6,366	703	22	2	6,837	887	7,724
三 Mar.	月	"	1,033	508	6,496	410	25	7	7,554	925	8,479
		"	731	321	18,023	2,138	15	4	18,769	2,463	21,232
四 Apr.	月	"	1,148	604	3,624	271	27	14	4,799	889	5,688
		"	700	322	20,986	2,975	14	10	21,700	3,307	25,007
五 May.	月	"	910	525	6,500	419	21	18	7,431	962	8,393
		"	478	645	20,740	2,107	17	9	21,235	2,761	23,996
六 Jun.	月	"	787	445	6,173	391	78	87	7,038	923	7,961
		"	726	304	20,310	2,555	19	17	21,055	2,876	23,931
七 Jul.	月	"	980	458	8,584	339	122	110	9,686	907	10,593
		"	784	371	15,017	1,265	56	39	15,857	1,675	17,532
八 Aug.	月	"	1,130	472	7,303	255	99	52	8,532	779	9,311
		"	1,234	484	11,841	662	82	67	13,157	1,213	14,370
九 Sep.	月	"	778	388	5,311	501	64	45	6,153	934	7,087
		"	960	430	8,591	628	101	132	9,652	1,490	11,142
十 Oct.	月	"	1,014	454	6,513	472	57	33	7,584	959	8,542
		"	836	404	5,255	718	38	41	6,129	1,163	7,292
十一 Nov.	月	"	990	444	7,848	140	49	34	8,887	618	9,505
		"	892	331	18,602	1,710	13	9	19,507	2,050	21,557
十二 Dec.	月	"	1,108	475	7,203	253	83	42	8,394	770	9,164
		"	720	299	12,621	479	23	14	13,364	792	14,156
計 Total.	}	"	11,049	5,302	73,202	3,686	943	462	84,894	9,450	94,344
		"	9,344	4,337	158,837	16,316	411	354	168,592	21,007	189,599
		Total.	20,393	9,639	232,039	20,002	1,054	816	253,486	30,457	283,943

○山鐵青島大港兩驛乘降客(大正六年) Passengers departed and arrived at the station of Tsingtao and Ta-chiang(1917)

月次 Month.	一 等 車 First class.		二 等 車 Second class.		三 等 車 Third class.		合 計 Total.		
	乘 Departed.	降 Arrived.	乘 Departed.	降 Arrived.	乘 Departed.	降 Arrived.	乘 Departed.	降 Arrived.	
一 月 Jan.	青 島 驛 Tsing tao. 大 港 驛 Ta-chiang.	72	95	510	535	16,276	16,324	16,858	16,954
		12	3	207	10	5,790	1,858	6,009	1,871
二 月 Feb.	" "	68	79	341	498	13,892	23,741	14,301	24,318
		17	4	166	11	4,839	3,940	5,022	3,955
三 月 Mar.	" "	97	114	367	481	15,009	36,309	15,473	36,904
		13	2	190	23	5,646	1,825	5,849	1,853
四 月 Apr.	" "	207	207	449	528	13,759	26,047	14,415	26,782
		21	10	217	19	6,348	9,964	6,586	9,993
五 月 May.	" "	113	162	441	735	13,814	32,580	14,368	33,477
		22	8	252	21	7,690	10,814	7,964	10,843
六 月 Jun.	" "	109	138	418	738	11,373	28,331	11,900	29,207
		22	4	167	22	5,778	9,005	5,967	9,031
七 月 Jul.	" "	121	107	422	531	11,759	22,204	12,302	22,842
		23	1	136	16	5,156	3,691	5,315	3,708
八 月 Aug.	" "	122	103	556	557	12,685	19,326	13,363	19,989
		13	3	139	24	5,304	2,967	5,456	2,994
九 月 Sep.	" "	201	90	544	633	13,547	18,378	14,292	19,101
		14	3	177	32	5,951	7,080	6,100	7,115
十 月 Oct.	" "	179	100	524	587	15,404	22,233	16,107	22,920
		21	3	186	8	6,270	281	6,477	292
十一月 Nov.	" "	161	205	634	678	17,503	27,687	18,298	28,570
		39	6	171	32	6,709	8,675	6,919	8,713
十二月 Dec.	" "	170	169	687	672	17,605	23,673	18,462	24,514
		35	2	207	13	7,042	9,406	7,284	9,421
計 Total.	青 島 驛 Tsingtao 大 港 驛 Ta-chiang. 計 Total.	1,620	1,572	5,893	7,173	172,626	293,833	180,139	305,578
		252	49	2,209	234	72,487	69,503	74,948	69,789
		1,872	1,621	8,102	7,407	245,113	363,339	255,087	375,367

青島貿易三箇年比較表

COMPARATIVE TABLE, EXPORTS AND IMPORTS FROM AND INTO THE PORT OF TSINGTAO.

月 Months.	年 Year.	輸 出 EXPORTS.		輸 入 IMPORTS.		計 TOTAL.	
		數 Quantity.	價 Amount.	數 Quantity.	價 Amount.	數 Quantity.	價 Amount.
		噸 Ton	圓 ¥ Silver	噸 Ton	圓 ¥ Silver	噸 Ton	圓 ¥ Silver
一 月 Jan.	大正四年 1915.	2,292.0	146,642.00	10,573.0	640,536.00	12,865.0	787,178.00
	大正五年 1916.	27,605.0	2,208,400.00	15,939.0	1,944,558.00	43,544.0	4,152,958.00
	大正六年 1917.	28,807.9	3,286,931.04	32,193.7	5,619,859.33	61,001.6	8,906,790.37
二 月 Feb.	大正四年 1915.	5,949.0	343,621.00	11,665.0	844,177.00	17,611.0	1,187,798.00
	大正五年 1916.	18,835.0	1,503,800.00	21,305.0	2,599,210.00	40,140.0	4,103,010.00
	大正六年 1917.	28,264.6	2,497,628.04	24,670.7	5,024,060.48	52,935.3	7,521,688.52
三 月 Mar.	大正四年 1915.	14,052.0	444,704.00	17,403.0	1,093,137.00	31,455.0	1,540,841.00
	大正五年 1916.	28,823.0	2,305,840.00	20,477.0	2,498,194.00	49,300.0	4,804,034.00
	大正六年 1917.	42,079.4	4,994,195.35	44,719.6	7,976,208.56	86,799.0	12,970,403.91
四 月 Apr.	大正四年 1915.	12,403.0	433,967.00	15,396.0	1,420,616.00	27,799.0	1,854,583.00
	大正五年 1916.	15,268.0	1,221,440.00	15,491.0	1,889,902.00	30,759.0	3,111,342.00
	大正六年 1917.	36,694.5	4,293,842.37	38,744.1	5,755,804.00	75,438.6	10,049,646.37
五 月 May.	大正四年 1915.	23,367.0	549,618.00	10,778.0	1,219,154.00	34,145.0	1,768,772.00
	大正五年 1916.	34,647.0	2,771,760.00	15,215.0	1,856,230.00	49,862.0	4,627,990.00
	大正六年 1917.	38,948.0	5,776,113.65	41,951.1	8,149,223.59	80,899.1	13,925,337.24
六 月 Jun.	大正四年 1915.	12,999.0	536,640.00	11,092.0	1,719,873.00	24,091.0	2,256,513.00
	大正五年 1916.	12,241.0	979,280.00	11,121.0	1,356,762.00	23,362.0	2,336,042.00
	大正六年 1917.	39,417.8	5,121,731.40	29,875.3	3,262,352.74	69,293.1	8,384,084.14
七 月 Jul.	大正四年 1915.	8,980.0	425,298.00	15,280.0	2,776,598.00	24,260.0	3,201,896.00
	大正五年 1916.	19,938.0	1,597,440.00	25,376.0	3,095,872.00	45,344.0	4,693,312.00
	大正六年 1917.	39,177.9	4,231,857.60	24,879.2	3,945,450.73	64,057.1	8,177,308.33
八 月 Aug.	大正四年 1915.	18,413.0	1,305,878.00	16,922.0	2,701,567.00	35,335.0	4,007,445.00
	大正五年 1916.	17,669.0	2,729,381.00	16,887.0	2,678,911.00	34,556.0	5,408,292.00
	大正六年 1917.	32,844.8	3,138,552.52	31,262.7	4,194,817.70	64,107.5	7,333,370.22
九 月 Sep.	大正四年 1915.	20,955.0	1,651,272.00	19,031.0	2,165,947.00	39,986.0	3,817,219.00
	大正五年 1916.	22,295.0	3,165,078.00	27,013.0	4,013,204.00	49,303.0	7,181,282.00
	大正六年 1917.	27,993.4	1,724,919.35	25,676.1	4,747,414.39	53,669.5	6,472,333.74
十 月 Oct.	大正四年 1915.	20,583.0	2,018,221.00	11,654.0	2,008,412.00	32,237.0	4,026,633.00
	大正五年 1916.	28,869.0	2,766,779.00	27,059.0	4,631,628.00	55,928.0	7,398,407.00
	大正六年 1917.	34,103.1	2,120,919.74	31,163.1	6,778,603.01	65,266.2	8,899,522.75
十一月 Nov.	大正四年 1915.	13,136.0	2,079,380.00	16,574.0	2,284,077.00	29,710.0	4,363,457.00
	大正五年 1916.	26,254.0	3,148,622.00	19,154.0	4,562,153.00	45,408.0	7,710,775.00
	大正六年 1917.	32,440.0	2,910,554.41	21,429.3	5,449,434.74	53,869.3	8,359,989.15
十二月 Dec.	大正四年 1915.	23,960.0	4,158,758.00	25,105.0	3,307,974.00	49,065.0	7,466,732.00
	大正五年 1916.	42,262.0	5,098,137.00	28,509.0	5,393,194.00	70,771.0	10,491,331.00
	大正六年 1917.	65,615.9	4,875,020.40	31,530.5	4,989,853.89	97,146.4	9,864,874.29
合 計 TOTAL.	大正四年 1915.	177,086.0	14,093,999.00	181,473.0	22,185,038.00	358,559.0	36,279,037.00
	大正五年 1916.	294,736.0	29,498,957.00	243,546.0	36,522,818.00	538,282.0	66,021,775.00
	大正六年 1917.	446,287.3	44,972,265.87	378,095.4	65,893,033.16	824,382.7	110,865,349.03